第２章　調査結果

1　目黒区での居住

（1）居住年数

問1　あなたは、目黒区に住んで何年になりますか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「２０年以上～３０年未満（14.5%）」、「３０年以上～４０年未満（8.5%）」、「４０年以上（24.9%）」を合わせた『長期居住者』が47.9%を占めている。「５年以上～１０年未満（13.1%）」と「１０年以上～２０年未満（17.0%）」を合わせた『中期居住者』は30.1%、「５年未満」の『短期居住者』は21.1%となっている。

長期居住者・短期居住者の推移をみると、短期居住者は平成29年の24%から令和２年の16%と減少しているものの、昭和61年以降は概ね２割前後で推移している。長期居住者は平成21年以降は４割台後半で横ばい状態である。

図１－１－１　居住年数（全体）

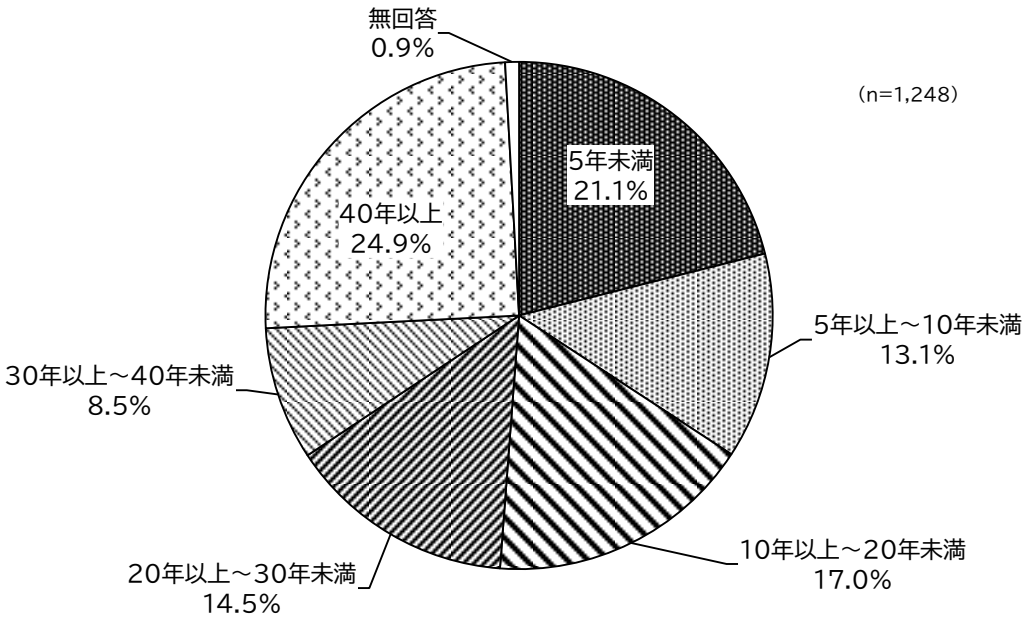
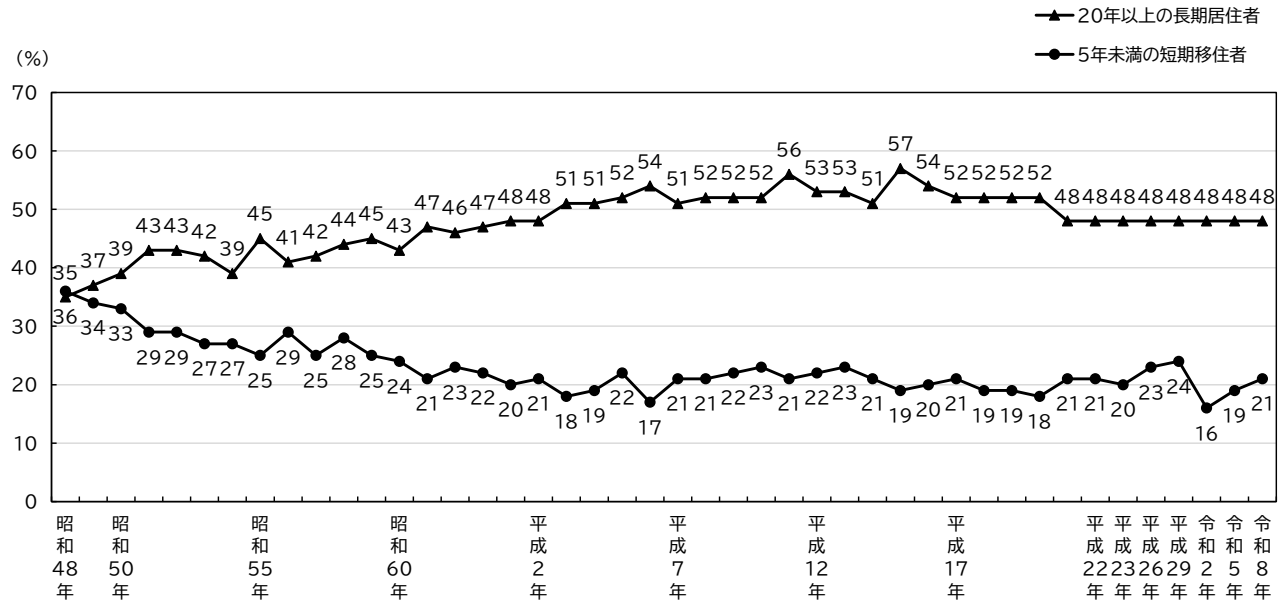


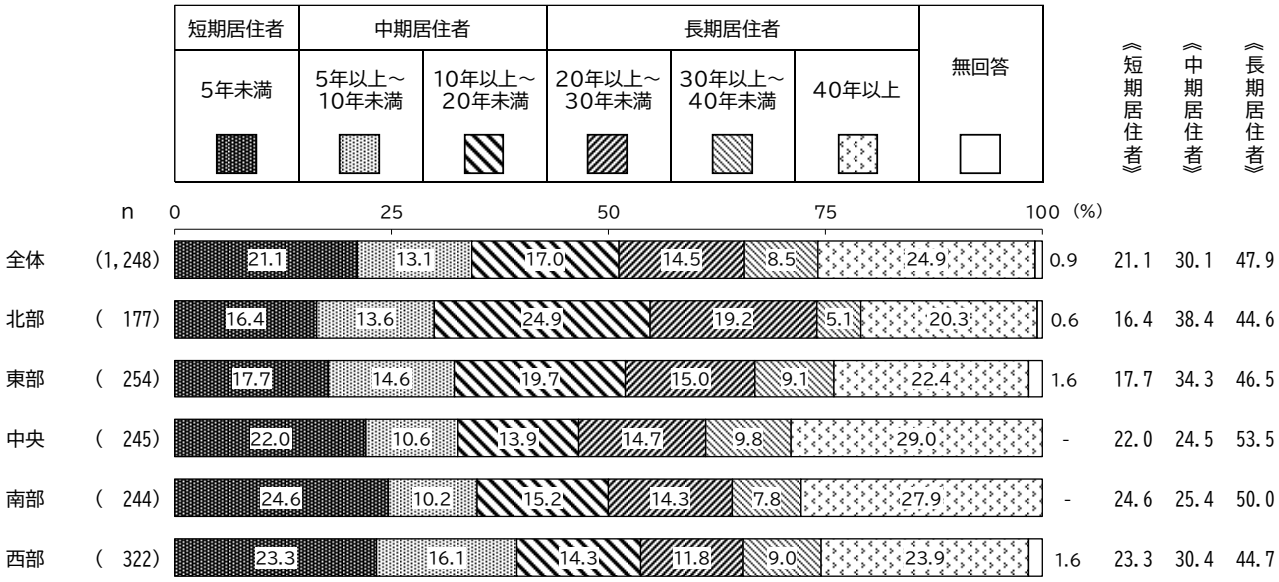
図１－１－２　長期居住者・短期居住者の推移（全体）



②地区別

『短期居住者』は南部地区（24.6%）、西部地区（23.3%）で高く、『長期居住者』は中央地区（53.5%）、南部地区（50.0%）で高くなっている。

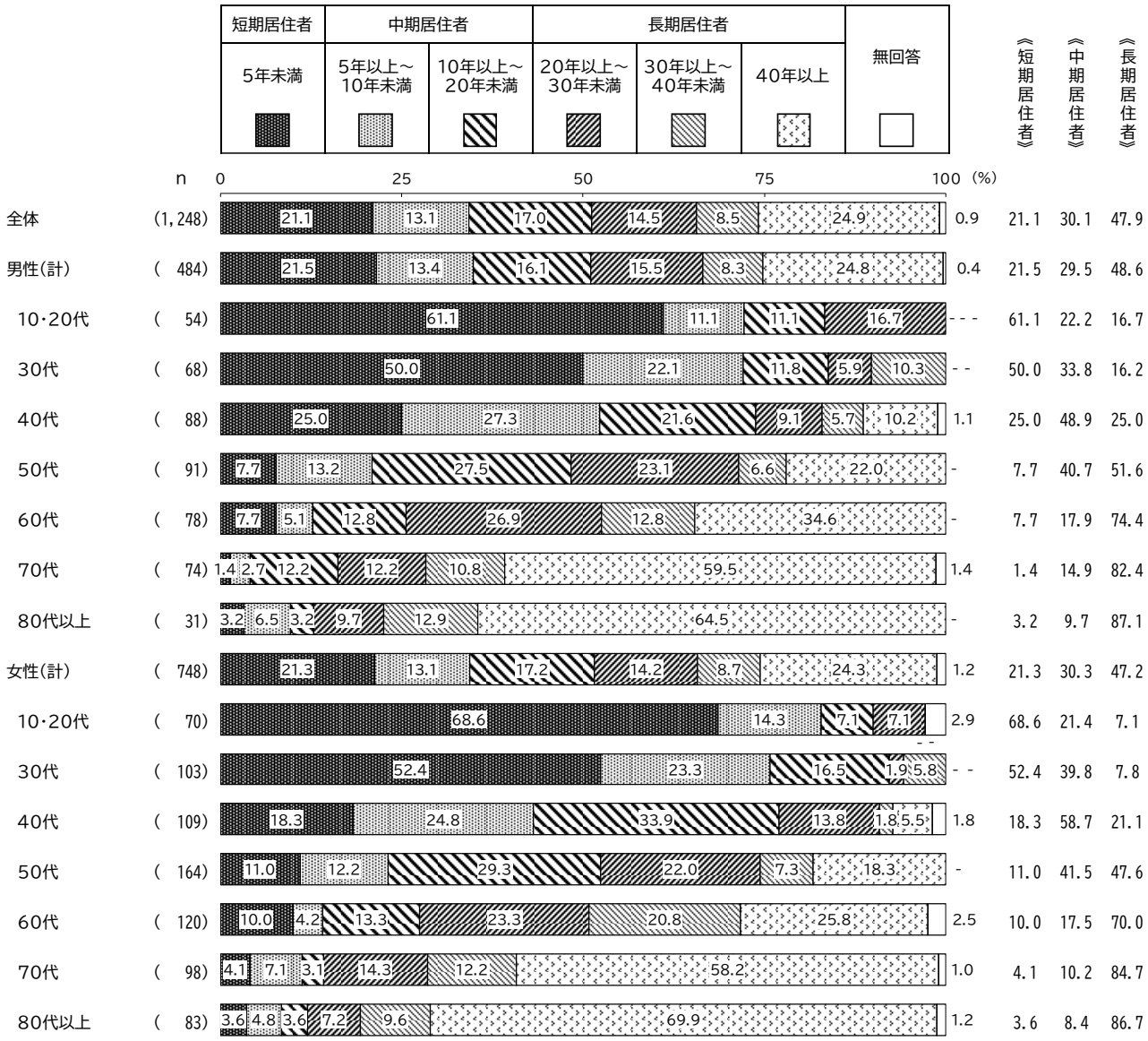
図１－１－３　居住年数（地区別）



③性・年代別

『短期居住者』は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に30代以下で高くなっている。『中期居住者』は男女とも40代が最も高い。『長期居住者』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男女とも60代で7割台、70代以上で8割を超えている。

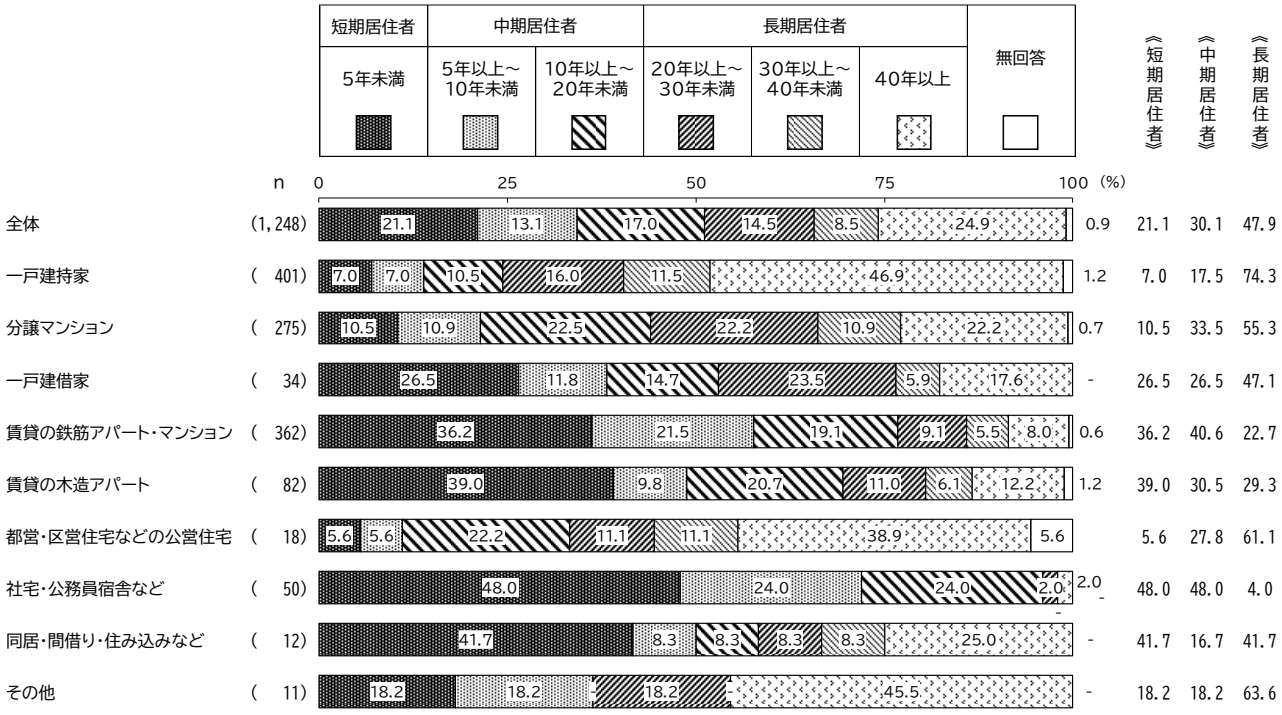
図１－１－４　居住年数（性・年代別）



④居住形態別

『短期居住者』は社宅・公務員宿舎など（48.0%）や賃貸の木造アパート（39.0%）、賃貸の鉄筋アパート・マンション（36.2%）で高く、『長期居住者』は一戸建持家（74.3%）、分譲マンション（55.3%）で高くなっている。

図１－１－５　居住年数（居住形態別）



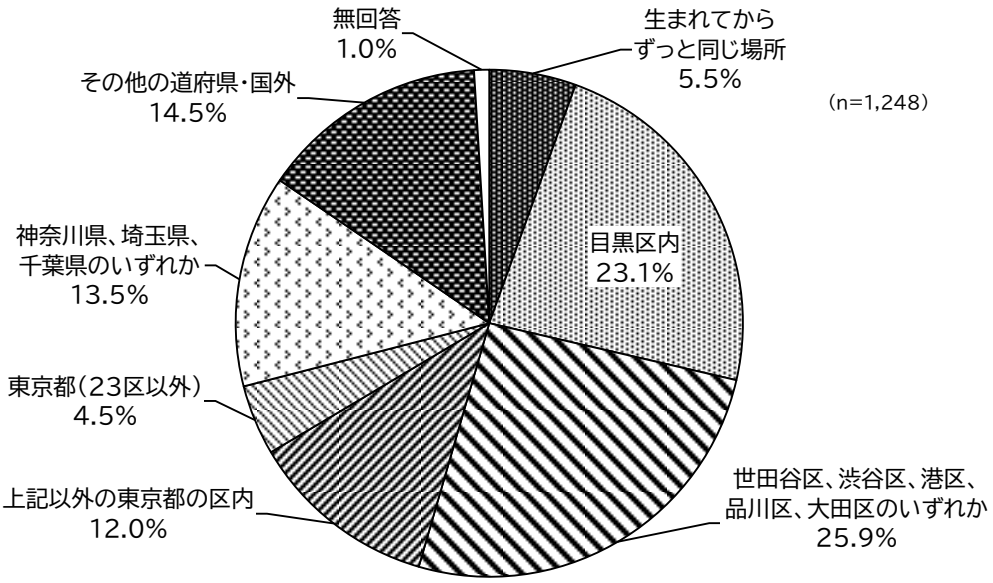
（２）現住所直前の居住場所

問２　あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「世田谷区、渋谷区、港区、品川区、大田区のいずれか」が25.9%で最も高くなっている。「生まれてからずっと同じ場所（5.5%）」と「目黒区内（23.1%）」を合わせた『目黒区』は28.6%である。

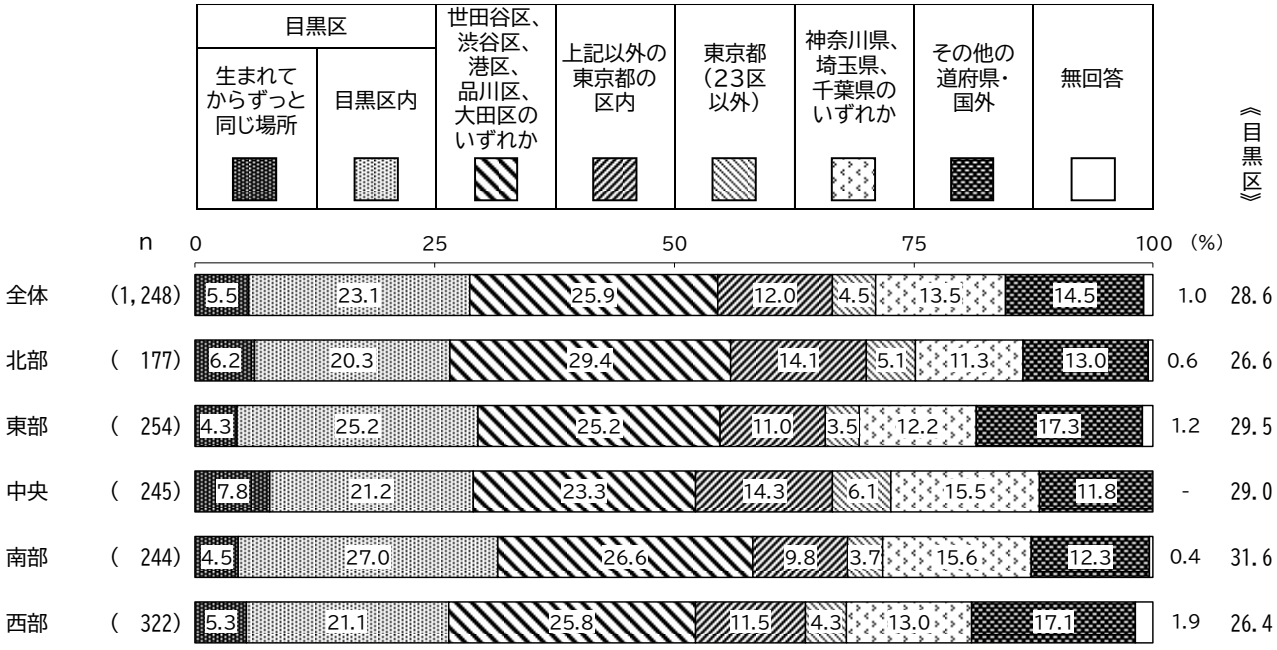
図１－２－１　現住所直前の居住場所（全体）



②地区別

『目黒区』は南部地区（31.6%）で高くなっている。

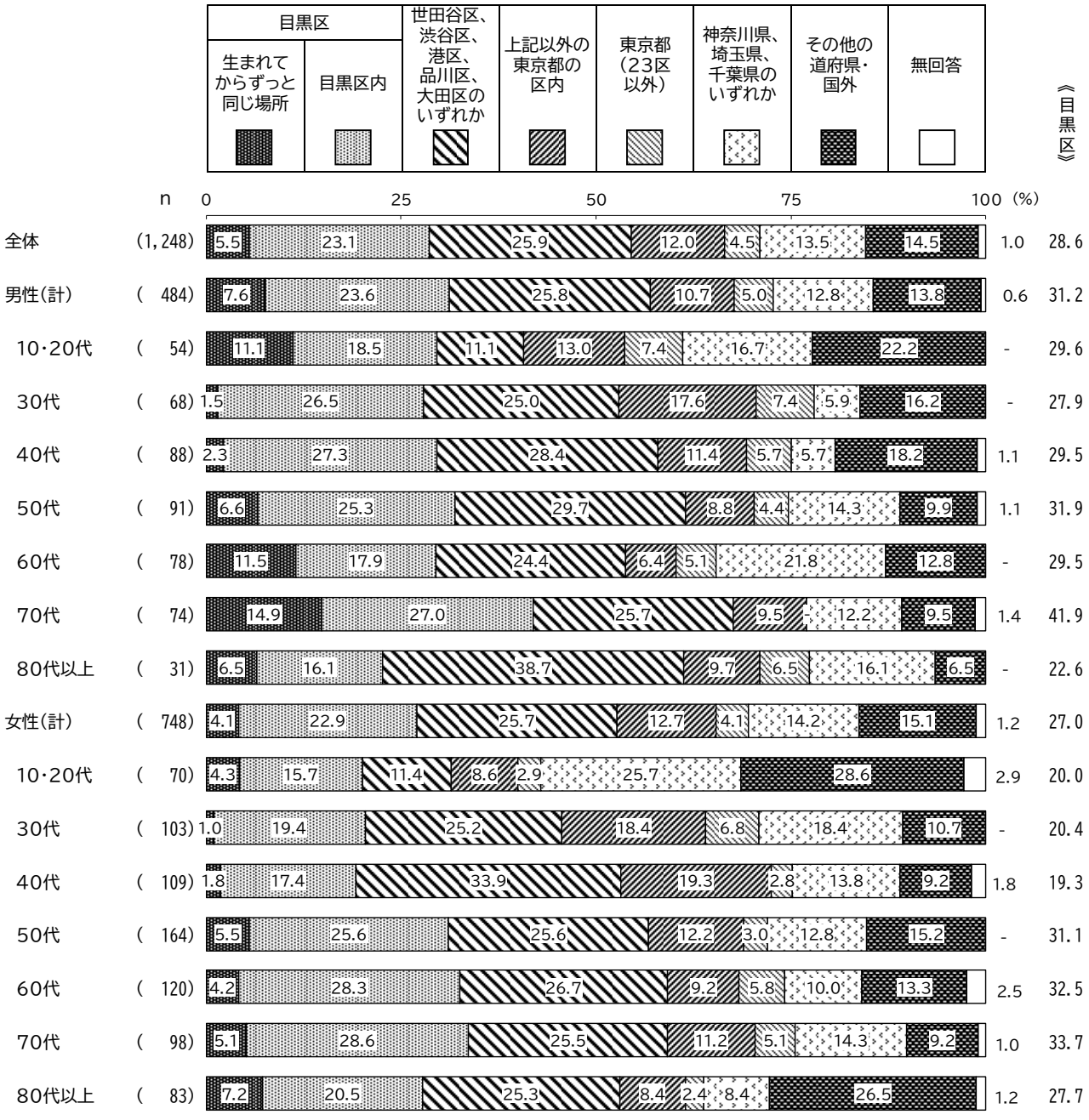
図１－２－２　現住所直前の居住場所（地区別）



③性・年代別

『目黒区』は男性の方が女性より高い傾向にあり、特に、男性の70代で4割を超えている。女性は50～70代が３割台前半と高い。その他の年代は１～２割台となっている。「その他の道府県・国外」は男性、女性の10・20代、女性の80代以上で２割台と高くなっている。

図１－２－３　現住所直前の居住場所（性・年代別）



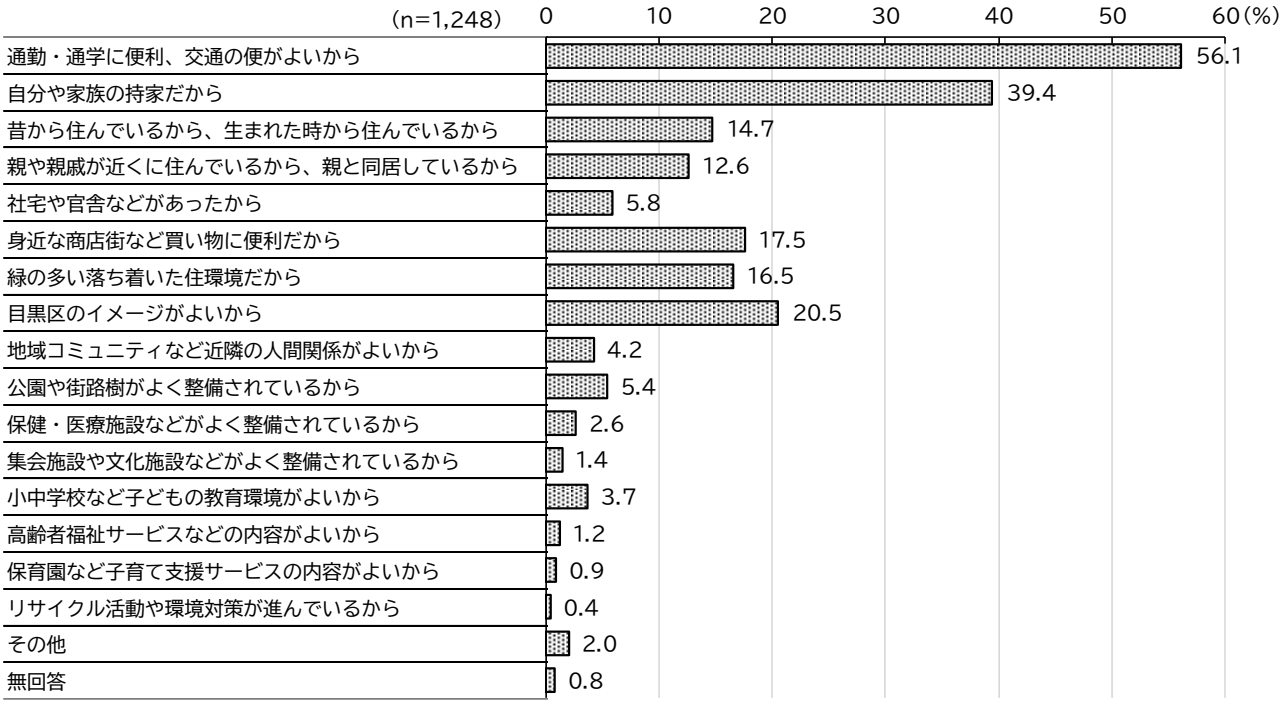
（3）居住理由

問3　あなたが、目黒区に住んでいる理由は何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

①全体

「通勤･通学に便利､交通の便がよいから」が56.1%で最も高く、次いで「自分や家族の持家だから（39.4%）」となっている。

図1－3－1　居住理由（全体）



②地区別

「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」は東部地区（63.8%）で、「社宅や官舎などがあったから」は北部地区（15.3%）で、「身近な商店街など買い物に便利だから」は中央地区（26.9%）、で、「目黒区のイメージがよいから」は中央地区（24.1%）、東部地区（23.6%）で高くなっている。

表１－３－１　居住理由（地区別）

（%）

	n	通勤･通学に便利、交通の便がよいから	自分や家族の持家だから	昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから	親や親戚が近くに住んでいるから、親と同居しているから	社宅や官舎などがあったから	身近な商店街など買い物に便利だから	緑の多い落ち着いた住環境だから	目黒区のイメージがよいから	地域コミュニティなど近隣の人間関係がよいから
全　体	1,248	56.1	39.4	14.7	12.6	5.8	17.5	16.5	20.5	4.2
北　部	177	56.5	40.1	12.4	8.5	15.3	11.9	13.6	11.9	4.0
東　部	254	63.8	35.8	14.2	9.4	4.3	15.0	17.7	23.6	3.5
中　央	245	56.3	39.6	15.9	15.1	3.7	26.9	11.0	24.1	5.7
南　部	244	51.6	41.0	17.6	14.3	4.9	20.5	13.9	18.4	3.7
西　部	322	53.1	40.4	13.7	14.3	4.3	12.7	23.6	21.7	4.0

	n	公園や街路樹がよく整備されているから	保健･医療施設などがよく整備されているから	集会施設や文化施設などがよく整備されているから	小中学校など子どもの教育環境がよいから	高齢者福祉サービスなどの内容がよいから	保育園など子育て支援サービスの内容がよいから	リサイクル活動や環境対策が進んでいるから	その他	無回答
全　体	1,248	5.4	2.6	1.4	3.7	1.2	0.9	0.4	2.0	0.8
北　部	177	4.5	4.0	1.7	4.5	0.6	0.6	0.0	2.8	0.0
東　部	254	6.3	2.8	0.4	3.5	1.6	0.4	0.8	1.2	0.4
中　央	245	3.3	2.9	0.4	1.2	1.2	0.4	0.4	4.1	0.8
南　部	244	3.3	2.5	1.6	1.6	1.6	2.0	0.8	0.8	2.0
西　部	322	8.7	1.9	2.8	6.8	0.9	0.9	0.0	1.2	0.6

③性・年代別

「通勤･通学に便利､交通の便がよいから」は男性の50代以下、女性の40代以下で６～７割台と高くなっている。「自分や家族の持家だから」は男性の50代以上、女性の60代以上で４割を超えている。「目黒区のイメージがよいから」は女性の30代以下で３割台前半となっている。

表１－３－２　居住理由（性・年代別）

（%）

	n	通勤･通学に便利､交通の便がよいから	自分や家族の持家だから	昔から住んでいるから､生まれた時から住んでいるから	親や親戚が近くに住んでいるから､親と同居しているから	社宅や官舎などがあったから	身近な商店街など買い物に便利だから	緑の多い落ち着いた住環境だから	目黒区のイメージがよいから	地域コミュニティなど近隣の人間関係がよいから
全　体	1,248	56.1	39.4	14.7	12.6	5.8	17.5	16.5	20.5	4.2
男性 計	484	60.5	41.1	18.8	12.6	7.0	17.1	14.5	18.4	4.3
10･20代	54	63.0	25.9	14.8	7.4	9.3	11.1	22.2	11.1	0.0
30代	68	70.6	25.0	13.2	11.8	10.3	11.8	14.7	27.9	1.5
40代	88	75.0	26.1	11.4	13.6	4.5	22.7	15.9	27.3	8.0
50代	91	64.8	47.3	18.7	12.1	8.8	19.8	15.4	14.3	4.4
60代	78	50.0	50.0	19.2	19.2	7.7	16.7	12.8	16.7	2.6
70代	74	52.7	60.8	35.1	9.5	2.7	20.3	9.5	16.2	5.4
80代以上	31	25.8	58.1	19.4	12.9	6.5	9.7	9.7	6.5	9.7
女性 計	748	53.9	38.4	12.4	12.7	5.1	17.2	17.6	21.8	4.1
10･20代	70	70.0	15.7	8.6	5.7	11.4	10.0	11.4	32.9	2.9
30代	103	68.9	17.5	9.7	10.7	10.7	18.4	19.4	32.0	4.9
40代	109	65.1	33.0	10.1	18.3	2.8	19.3	15.6	26.6	1.8
50代	164	59.8	36.0	12.2	15.9	4.3	14.0	22.0	23.2	5.5
60代	120	54.2	46.7	15.0	10.8	5.0	22.5	15.0	16.7	3.3
70代	98	29.6	57.1	16.3	11.2	2.0	18.4	19.4	9.2	5.1
80代以上	83	24.1	61.4	14.5	10.8	1.2	16.9	16.9	13.3	4.8

	n	公園や街路樹がよく整備されているから	保健･医療施設などがよく整備されているから	集会施設や文化施設などがよく整備されているから	小中学校など子どもの教育環境がよいから	高齢者福祉サービスなどの内容がよいから	保育園など子育て支援サービスの内容がよいから	リサイクル活動や環境対策が進んでいるから	その他	無回答
全　体	1,248	5.4	2.6	1.4	3.7	1.2	0.9	0.4	2.0	0.8
男性 計	484	5.4	2.5	1.2	3.9	0.6	1.0	0.4	2.3	0.4
10･20代	54	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	68	5.9	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
40代	88	6.8	0.0	0.0	8.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
50代	91	4.4	3.3	1.1	6.6	0.0	2.2	1.1	5.5	0.0
60代	78	5.1	1.3	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0
70代	74	5.4	8.1	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	1.4	2.7
80代以上	31	12.9	6.5	3.2	6.5	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0
女性 計	748	5.6	2.7	1.6	3.6	1.3	0.8	0.3	1.9	0.9
10･20代	70	4.3	1.4	1.4	4.3	0.0	1.4	1.4	0.0	1.4
30代	103	6.8	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0
40代	109	7.3	1.8	0.9	10.1	0.0	2.8	0.0	0.9	0.0
50代	164	4.9	1.8	1.2	3.0	0.0	0.6	0.0	1.8	0.0
60代	120	3.3	4.2	1.7	3.3	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0
70代	98	8.2	3.1	2.0	1.0	4.1	1.0	1.0	2.0	4.1
80代以上	83	4.8	6.0	4.8	2.4	7.2	0.0	0.0	4.8	2.4

④居住形態別

「通勤・通学に便利、交通の便がよいから」は賃貸の鉄筋アパート・マンションと賃貸の木造アパートで７割台と高くなっている。「自分や家族の持家だから」は一戸建持家（76.6%）が最も高くなっている。

表１－３－３　居住理由（居住形態別）

（%）

	n	通勤･通学に便利、交通の便がよいから	自分や家族の持家だから	昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから	親や親戚が近くに住んでいるから、親と同居しているから	社宅や官舎などがあったから	身近な商店街など買い物に便利だから	緑の多い落ち着いた住環境だから	目黒区のイメージがよいから	地域コミュニティなど近隣の人間関係がよいから
全　体	1,248	56.1	39.4	14.7	12.6	5.8	17.5	16.5	20.5	4.2
一戸建持家	401	34.9	76.6	22.7	15.2	1.2	10.0	11.0	11.2	3.0
分譲マンション	275	58.5	52.0	13.8	13.5	2.2	22.9	19.6	19.6	5.8
一戸建借家	34	58.8	23.5	23.5	17.6	0.0	11.8	11.8	14.7	5.9
賃貸の鉄筋アパート･マンション	362	78.2	5.5	8.3	9.9	2.5	22.7	21.3	32.0	5.0
賃貸の木造アパート	82	75.6	1.2	9.8	13.4	6.1	29.3	19.5	31.7	4.9
都営･区営住宅などの公営住宅	18	33.3	5.6	16.7	5.6	11.1	11.1	16.7	16.7	0.0
社宅･公務員宿舎など	50	30.0	0.0	2.0	4.0	90.0	2.0	8.0	6.0	0.0
同居･間借り･住み込みなど	12	41.7	50.0	25.0	16.7	8.3	0.0	8.3	16.7	0.0
その他	11	63.6	45.5	18.2	9.1	0.0	18.2	18.2	9.1	9.1

	n	公園や街路樹がよく整備されているから	保健･医療施設などがよく整備されているから	集会施設や文化施設などがよく整備されているから	小中学校など子どもの教育環境がよいから	高齢者福祉サービスなどの内容がよいから	保育園など子育て支援サービスの内容がよいから	リサイクル活動や環境対策が進んでいるから	その他	無回答
全　体	1,248	5.4	2.6	1.4	3.7	1.2	0.9	0.4	2.0	0.8
一戸建持家	401	4.2	2.5	1.5	3.2	0.7	1.0	0.5	2.2	1.2
分譲マンション	275	6.9	4.0	2.2	3.3	1.5	0.7	0.4	0.4	0.7
一戸建借家	34	5.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
賃貸の鉄筋アパート･マンション	362	6.1	2.8	0.8	5.0	0.6	1.1	0.3	3.0	0.3
賃貸の木造アパート	82	6.1	0.0	1.2	2.4	1.2	1.2	1.2	1.2	0.0
都営･区営住宅などの公営住宅	18	5.6	11.1	5.6	0.0	27.8	0.0	0.0	11.1	5.6
社宅･公務員宿舎など	50	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居･間借り･住み込みなど	12	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	11	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1

⑤居住年数別

「通勤･通学に便利､交通の便がよいから」は居住年数が20年未満で６割を超えている。「目黒区のイメージがよいから」は20年未満で2割台後半と高い。「身近な商店街など買い物に便利だから」は30年以上～40年未満（24.5%）が最も高い。「自分や家族の持家だから」は居住年数が長いほど割合が高い傾向にある。

表１－３－４　居住理由（居住年数別）

（%）

	n	通勤･通学に便利､交通の便がよいから	自分や家族の持家だから	昔から住んでいるから､生まれた時から住んでいるから	親や親戚が近くに住んでいるから､親と同居しているから	社宅や官舎などがあったから	身近な商店街など買い物に便利だから	緑の多い落ち着いた住環境だから	目黒区のイメージがよいから	地域コミュニティなど近隣の人間関係がよいから
全　体	1,248	56.1	39.4	14.7	12.6	5.8	17.5	16.5	20.5	4.2
5年未満	263	67.3	10.6	1.9	10.3	10.3	15.2	17.9	29.3	1.9
5年以上～10年未満	164	70.1	26.2	1.8	14.0	6.7	15.9	20.7	28.0	6.1
10年以上～20年未満	212	68.4	27.4	4.2	9.4	9.0	22.6	17.0	29.7	5.7
20年以上～30年未満	181	55.2	48.6	11.6	14.4	2.2	17.1	20.4	14.9	3.3
30年以上～40年未満	106	47.2	59.4	15.1	17.0	5.7	24.5	16.0	13.2	5.7
40年以上	311	35.0	66.6	40.2	13.5	1.9	15.1	11.3	9.0	4.5

	n	公園や街路樹がよく整備されているから	保健･医療施設などがよく整備されているから	集会施設や文化施設などがよく整備されているから	小中学校など子どもの教育環境がよいから	高齢者福祉サービスなどの内容がよいから	保育園など子育て支援サービスの内容がよいから	リサイクル活動や環境対策が進んでいるから	その他	無回答
全　体	1,248	5.4	2.6	1.4	3.7	1.2	0.9	0.4	2.0	0.8
5年未満	263	6.1	1.1	0.4	3.8	0.4	0.4	0.4	1.5	0.4
5年以上～10年未満	164	7.3	1.2	0.6	4.3	0.6	2.4	0.6	2.4	0.6
10年以上～20年未満	212	6.6	4.2	1.4	6.6	0.9	0.9	0.9	2.8	0.0
20年以上～30年未満	181	6.1	4.4	3.3	3.9	0.6	0.6	0.0	2.2	0.6
30年以上～40年未満	106	2.8	1.9	1.9	3.8	0.9	1.9	0.0	1.9	0.0
40年以上	311	3.9	2.9	1.6	1.3	2.9	0.3	0.3	1.6	2.3

（4）定住・転出意向

問４　あなたは、目黒区に今後も住みたいと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「ずっと住んでいたい」48.9%で最も高く、「当分の間は住んでいたい（46.7%）」を合わせた『定住意向あり』は95.6%を占める。「あまり住んでいたくない（1.3%）」と「できれば引っ越したい（2.7%）」を合わせた『転出意向あり』は4.0%となっている。

図１－４－１　定住・転出意向（全体）

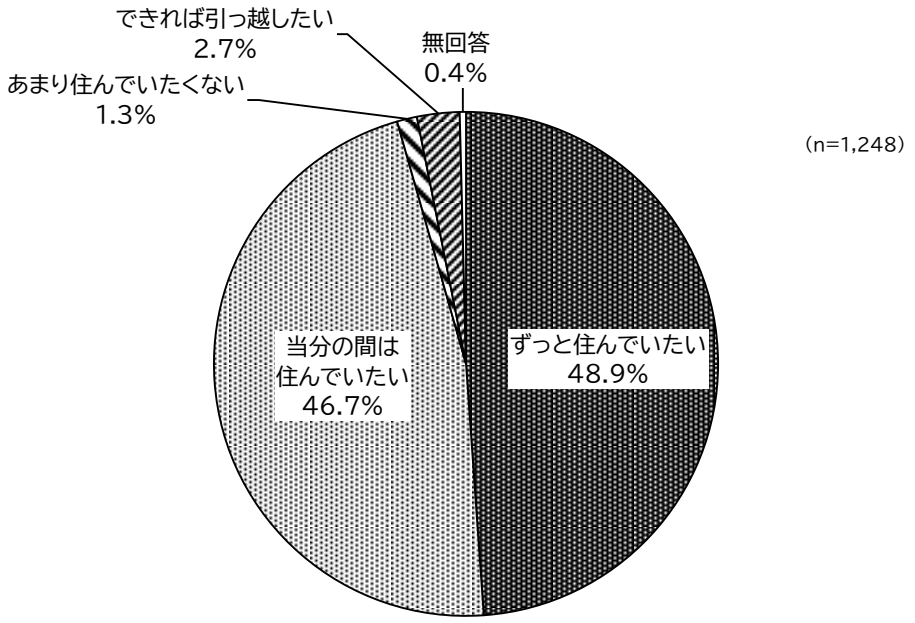
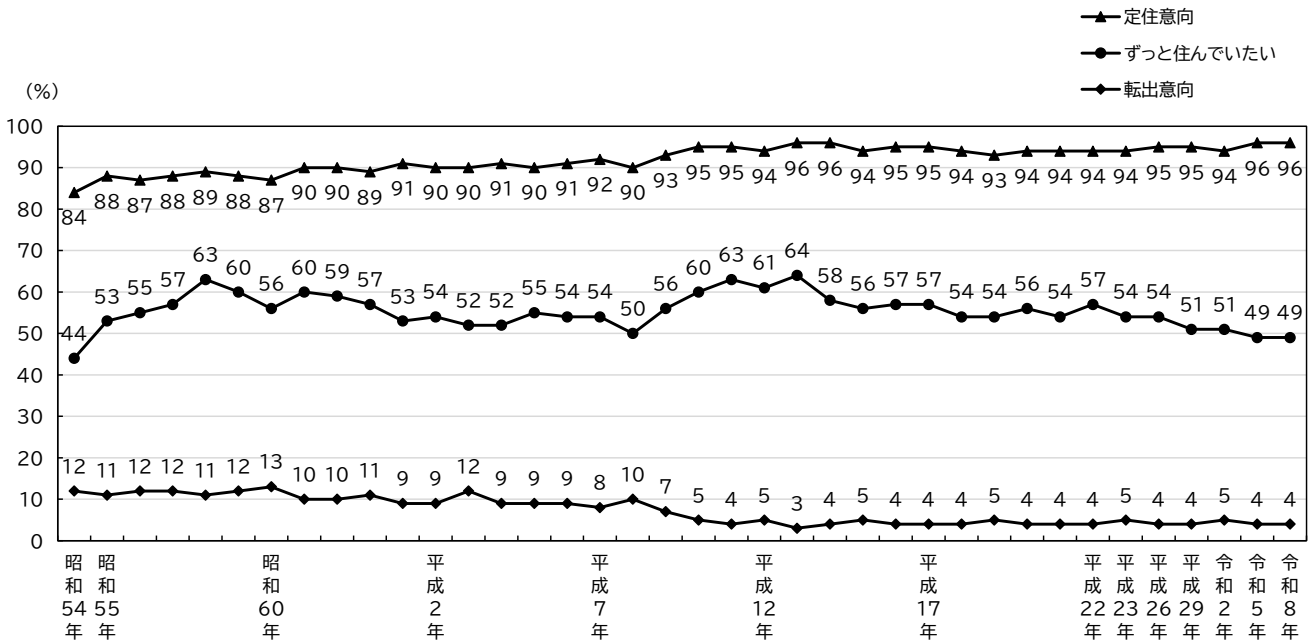


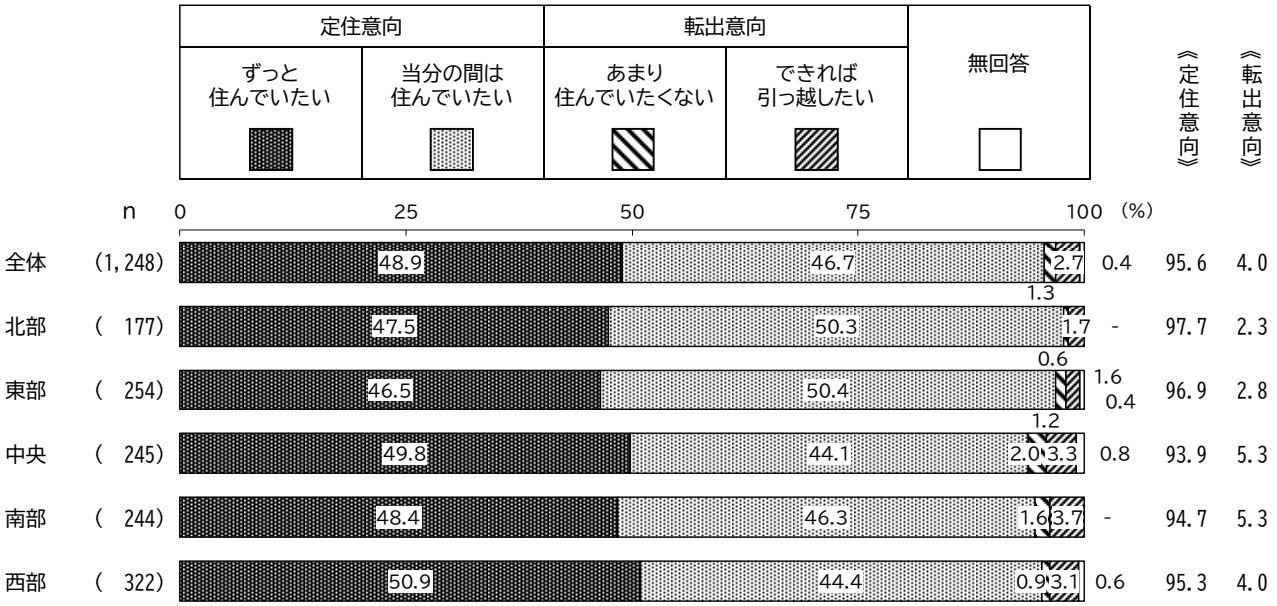
図１－４－２　定住・転出意向の推移（全体）



②地区別

すべての地区で『定住意向』が９割を超えている。「ずっと住んでいたい」は西部地区（50.9%）で高くなっている。

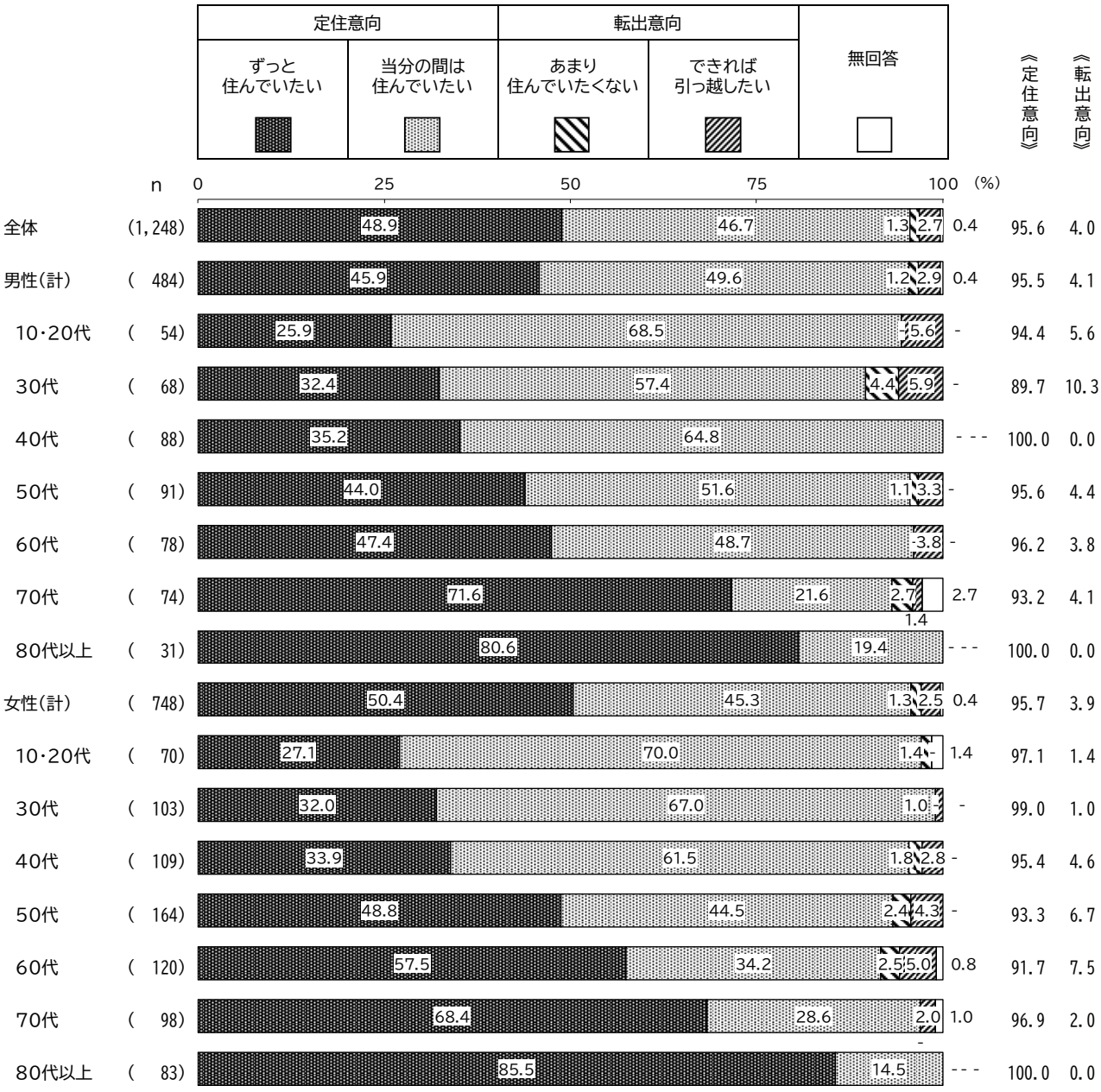
図１－４－３　定住・転出意向（地区別）



③性・年代別

すべての性・年代で『定住意向』が９割前後を占めている。「ずっと住んでいたい」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にある。

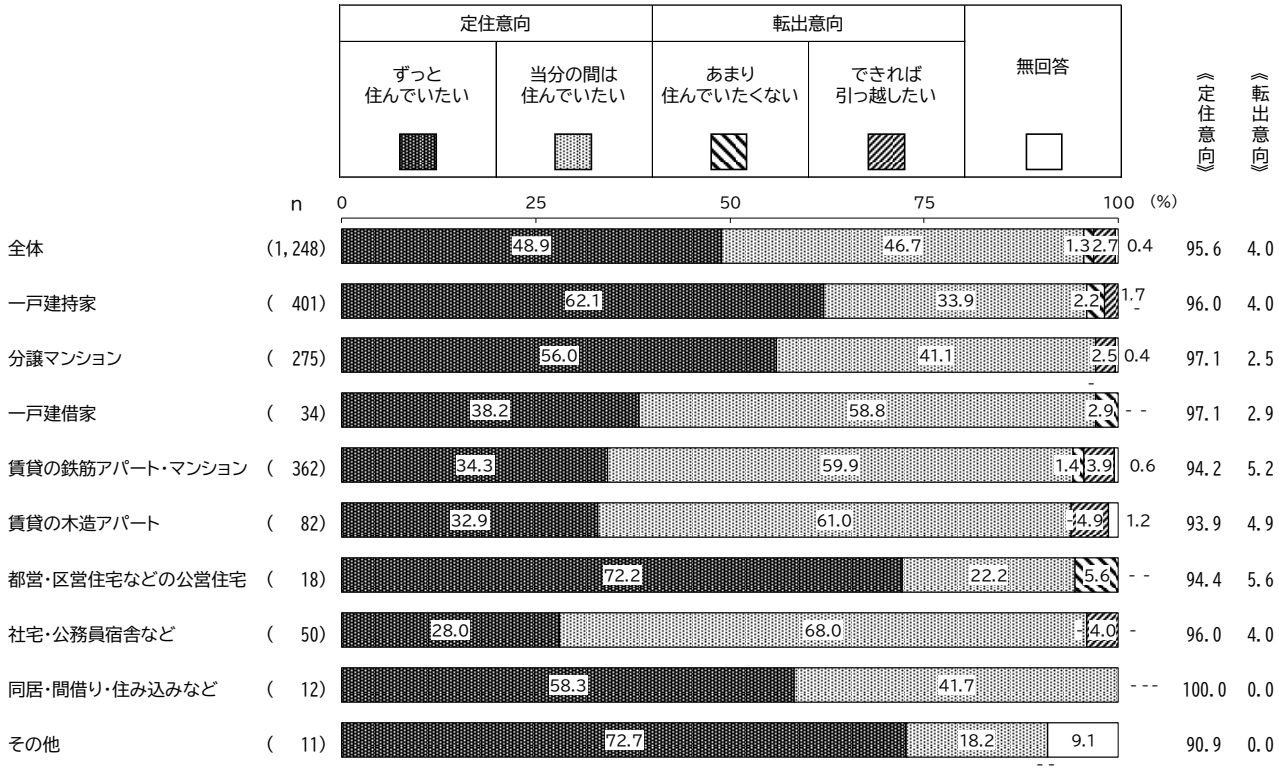
図１－４－４　定住・転出意向（性・年代別）



④居住形態別

「ずっと住んでいたい」は一戸建持家（62.1%）、分譲マンション（56.0%）で高くなっている。

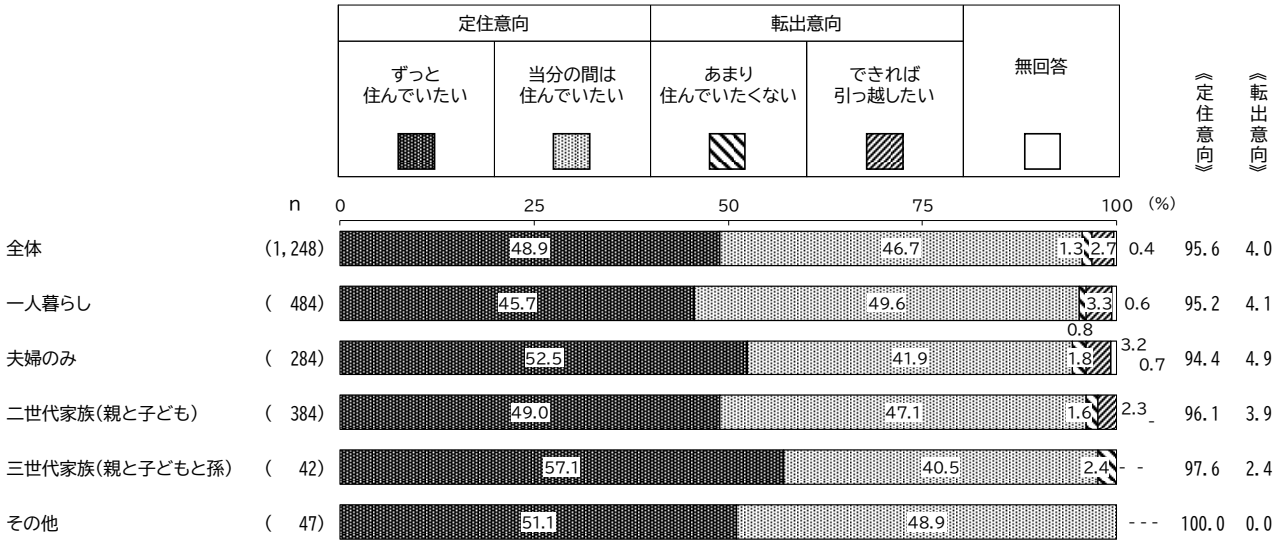
図１－４－５　定住・転出意向（居住形態別）



⑤世帯構成別

『定住意向』はすべての世帯構成で９割を超えている。「ずっと住んでいたい」は三世代家族（57.1%）で高くなっている。

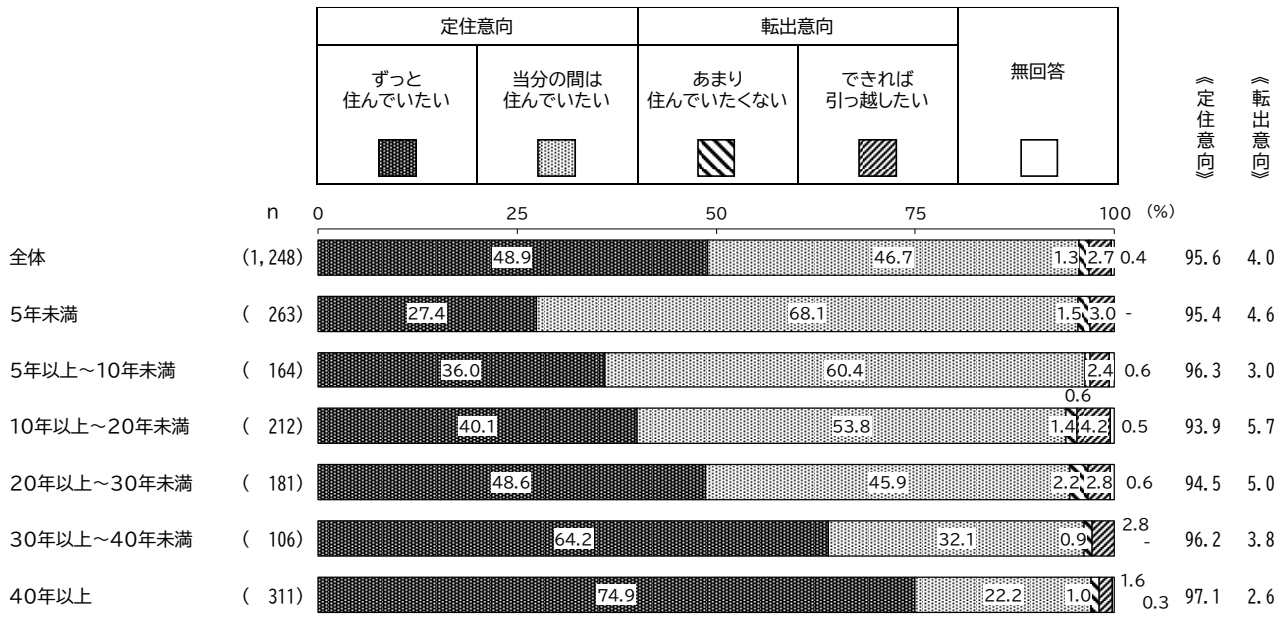
図１－４－６　定住・転出意向（世帯構成別）



⑥居住年数別

『定住意向』はすべての居住年数で９割を超えている。「ずっと住んでいたい」は居住年数が長いほど割合が高い傾向にある。

図１－４－７　定住・転出意向（居住年数別）



（５）転出意向理由

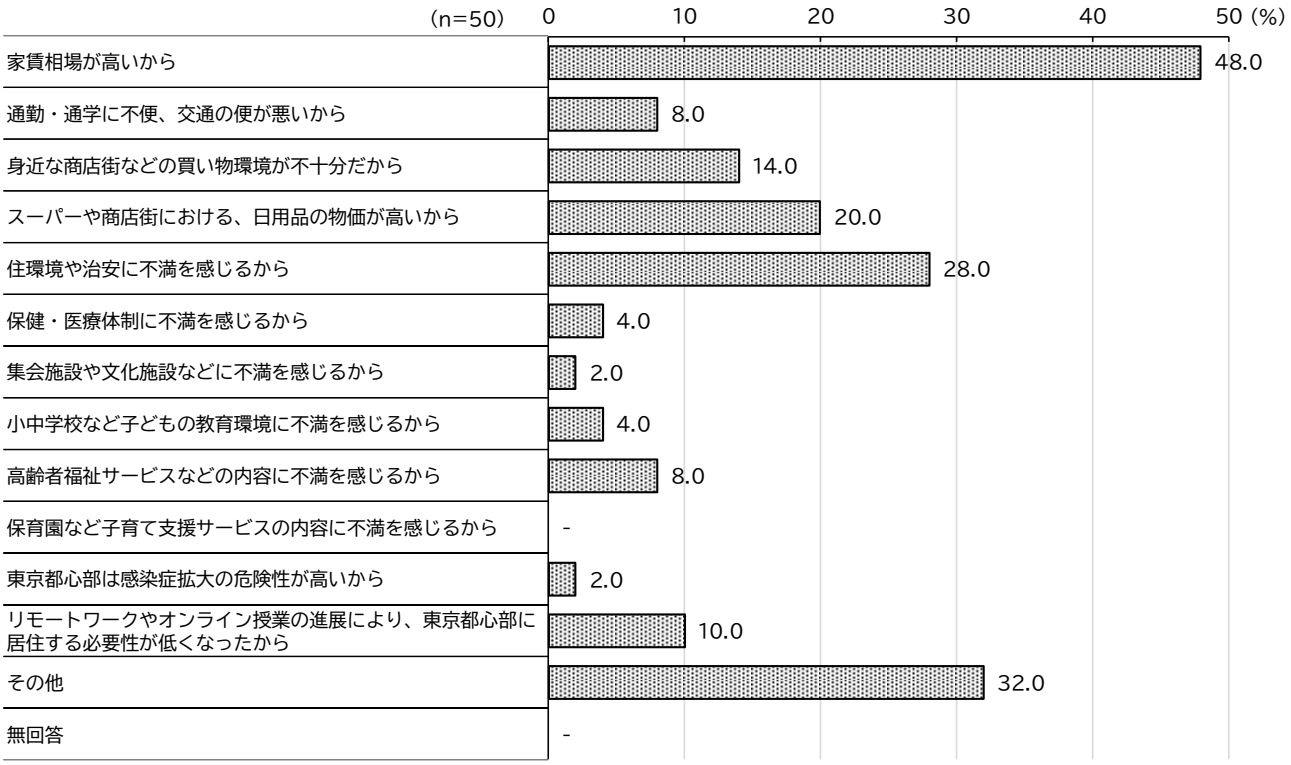
（問４で「あまり住んでいたくない」「できれば引っ越したい」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）

問４-１　あまり住んでいたくない・できれば引っ越したいと思うのは、主にどのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

①全体

「家賃相場が高いから」が48.0%で最も高く、次いで「その他（32.0%）」、「住環境や治安に不満を感じるから（28.0%）」となっている。

図１－５－１　転出意向理由（全体）



その他の内容（一部抜粋、編集）

住民税が高い／温暖な気候の所に住みたい／定年後は郊外へ移住したい／実家に帰りたい／町会がギクシャクしている／自然に恵まれた場所へ移住したい／子どもと高齢者施策ばかり重視されている／区政に信頼がおけない／年金だけでは生活が苦しい

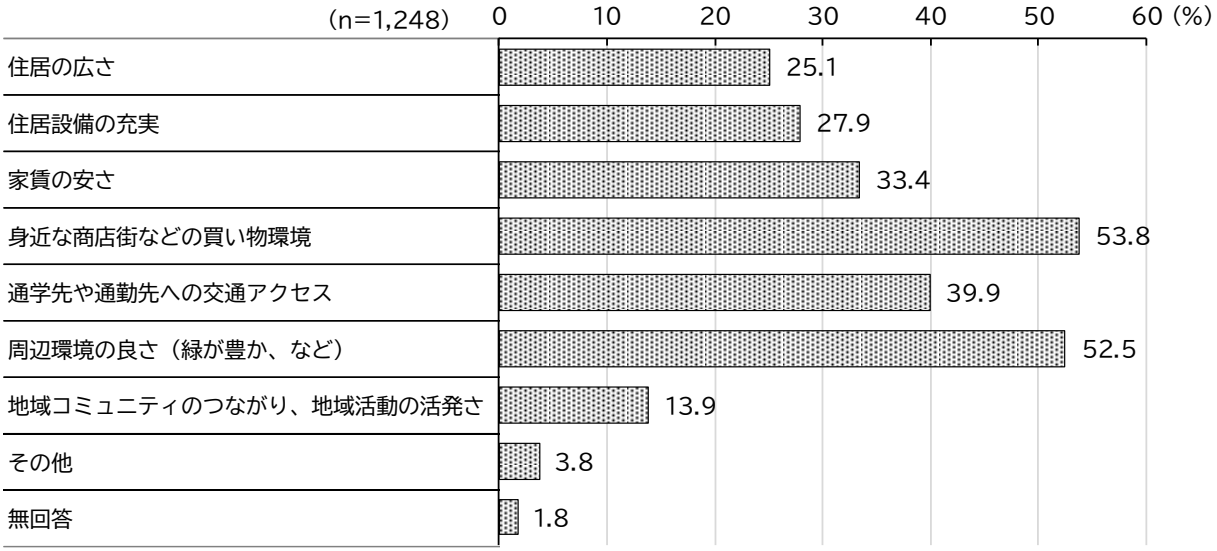
（６）今後の住環境で重視すること

問５　今後の住環境においては、どのようなことが重要だと思いますか。
（あてはまるもの３つまでに○）

①全体

「身近な商店街などの買い物環境」が53.8%で最も高く、次いで「周辺環境の良さ（緑が豊か、など）（52.5%）」、「通学先や通勤先への交通アクセス（39.9%）」となっている。

図１－６－１　今後の住環境で重視すること（全体）



②地区別

「周辺環境の良さ」は西部地区（59.3%）、北部地区（57.1%）で高く、「住居設備の充実」は東部地区（33.5%）で高くなっている。

表１－６－１　今後の住環境で重視すること（地区別）

（%）

	n	住居の広さ	住居設備の充実	家賃の安さ	身近な商店街などの買い物環境	通学先や通勤先への交通アクセス	周辺環境の良さ(緑が豊か、など)	地域コミュニティのつながり、地域活動の活発さ	その他	無回答
全　体	1,248	25.1	27.9	33.4	53.8	39.9	52.5	13.9	3.8	1.8
北　部	177	22.0	24.3	28.2	52.0	42.4	57.1	17.5	3.4	2.3
東　部	254	26.8	33.5	35.8	49.2	35.0	50.4	16.1	2.0	1.6
中　央	245	24.5	29.4	33.9	55.9	41.2	45.7	15.5	4.5	1.6
南　部	244	24.6	23.8	34.0	56.6	42.2	49.2	11.9	4.9	2.0
西　部	322	26.4	28.0	33.5	54.3	39.8	59.3	9.9	4.0	1.6

③性・年代別

「周辺環境の良さ」は男性の60代以上、女性の60代で６割を超え、「身近な商店街などの買い物環境」は男性の60代～70代、女性の30代、70代以上で６割を超えている。「通学先や通勤先への交通アクセス」は男性の40代以下、女性の10・20代、40代で５割を超え、「家賃の安さ」は男性の30代以下、女性の10・20代で５割を超えている。「住居の広さ」は男性の40代、女性の30代が４割を超えて高くなっている。

表１－６－２　今後の住環境で重視すること（性・年代別）

（%）

	n	住居の広さ	住居設備の充実	家賃の安さ	身近な商店街などの買い物環境	通学先や通勤先への交通アクセス	周辺環境の良さ(緑が豊か、など)	地域コミュニティのつながり、地域活動の活発さ	その他	無回答
全　体	1,248	25.1	27.9	33.4	53.8	39.9	52.5	13.9	3.8	1.8
男性 計	484	28.1	27.5	32.2	49.0	44.2	51.4	13.2	3.7	0.6
10･20代	54	29.6	27.8	57.4	35.2	61.1	29.6	3.7	1.9	0.0
30代	68	36.8	23.5	52.9	29.4	52.9	39.7	4.4	5.9	1.5
40代	88	46.6	27.3	45.5	42.0	55.7	37.5	6.8	3.4	0.0
50代	91	26.4	30.8	16.5	52.7	45.1	57.1	19.8	3.3	0.0
60代	78	17.9	23.1	33.3	65.4	35.9	66.7	16.7	1.3	1.3
70代	74	14.9	27.0	10.8	63.5	33.8	66.2	20.3	6.8	1.4
80代以上	31	16.1	38.7	0.0	48.4	6.5	64.5	22.6	3.2	0.0
女性 計	748	23.5	28.3	34.5	56.6	37.6	52.8	14.2	3.9	2.4
10･20代	70	25.7	25.7	54.3	57.1	54.3	41.4	2.9	1.4	0.0
30代	103	44.7	21.4	46.6	60.2	46.6	44.7	3.9	1.0	0.0
40代	109	32.1	27.5	36.7	47.7	58.7	46.8	6.4	5.5	0.9
50代	164	20.7	29.3	36.0	53.7	44.5	57.3	14.6	6.1	1.2
60代	120	17.5	33.3	31.7	58.3	27.5	63.3	16.7	5.8	1.7
70代	98	7.1	36.7	19.4	62.2	12.2	59.2	26.5	4.1	5.1
80代以上	83	16.9	21.7	18.1	60.2	15.7	48.2	27.7	0.0	9.6

④世帯構成別

「通学先や通勤先への交通アクセス」は二世代家族（48.2%）で高く、「家賃の安さ」は一人暮らし（45.0%）で高くなっている。「身近な商店街などの買い物環境」は三世代家族（73.8%）、夫婦のみ（60.6%）などが高くなっている。

表１－６－３　今後の住環境で重視すること（世帯構成別）

（%）

	n	住居の広さ	住居設備の充実	家賃の安さ	身近な商店街などの買い物環境	通学先や通勤先への交通アクセス	周辺環境の良さ(緑が豊か、など)	地域コミュニティのつながり、地域活動の活発さ	その他	無回答
全　体	1,248	25.1	27.9	33.4	53.8	39.9	52.5	13.9	3.8	1.8
一人暮らし	484	21.3	28.3	45.0	52.9	38.4	47.1	13.8	3.9	2.5
夫婦のみ	284	22.9	31.3	21.8	60.6	32.0	59.9	13.7	2.8	1.4
二世代家族（親と子ども）	384	31.5	25.8	27.9	46.4	48.2	53.4	14.1	4.4	1.6
三世代家族（親と子どもと孫）	42	26.2	11.9	19.0	73.8	40.5	59.5	19.0	2.4	0.0
その他	47	27.7	38.3	42.6	59.6	36.2	46.8	8.5	4.3	0.0

2　暮らし向き・仕事

（1）暮らし向きの変化

問６　あなたの暮らし向き（経済状況）は、昨年の今ごろと比べてどうですか。
（あてはまるもの１つに○）

①全体

「変わらない」が57.9%で最も高くなっている。「非常に苦しくなった（5.4%）」と「苦しくなった（30.0%）」を合わせた『苦しくなった』は35.5%である。

図２－１－１　暮らし向きの変化（全体）

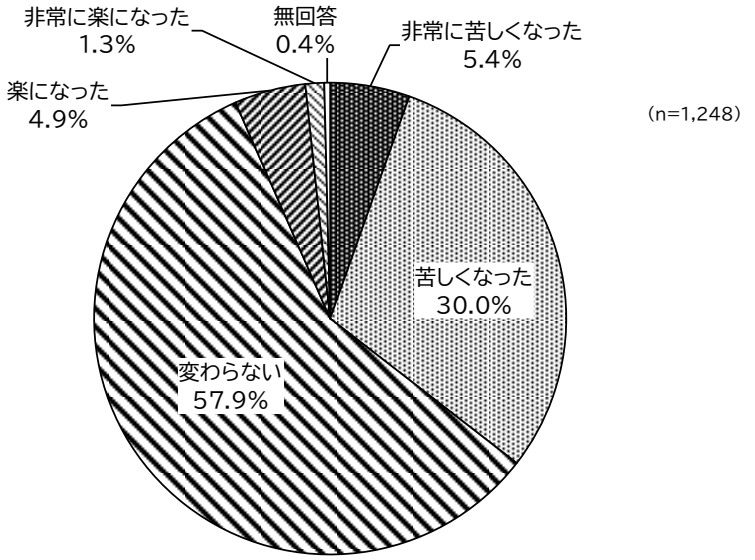
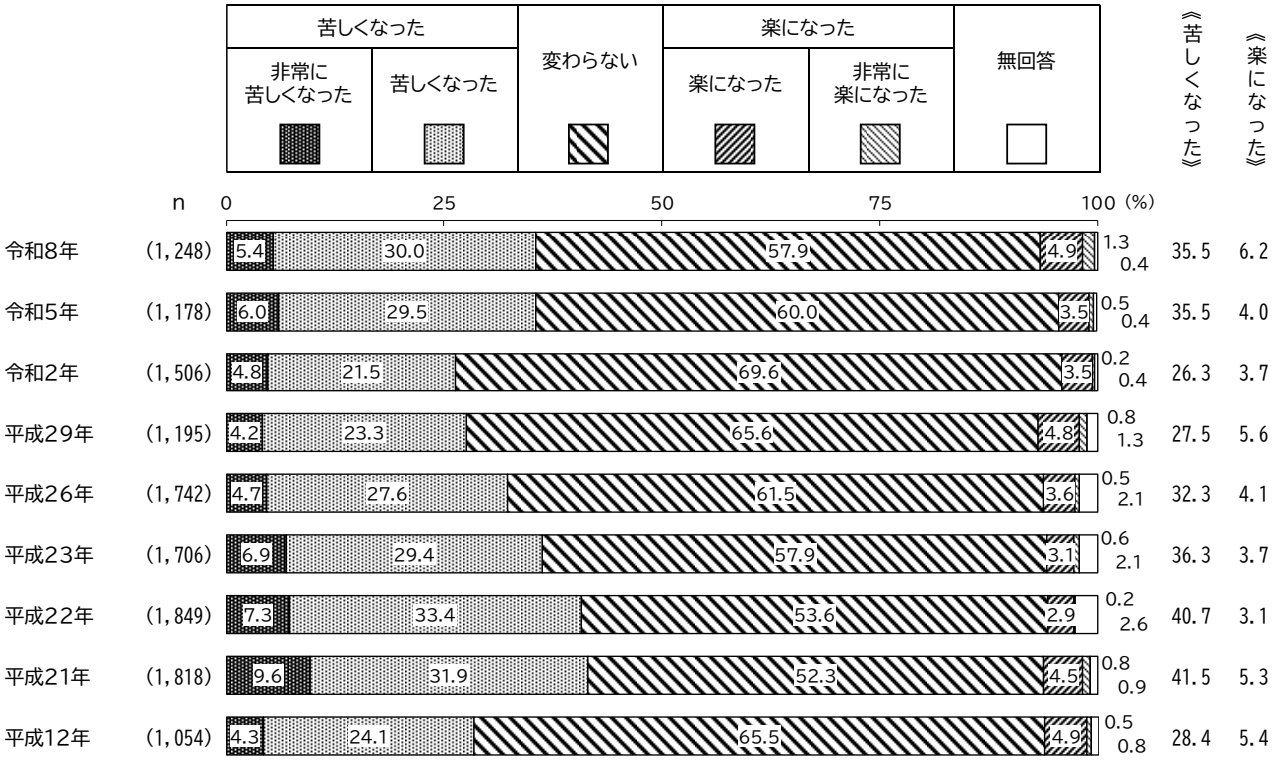


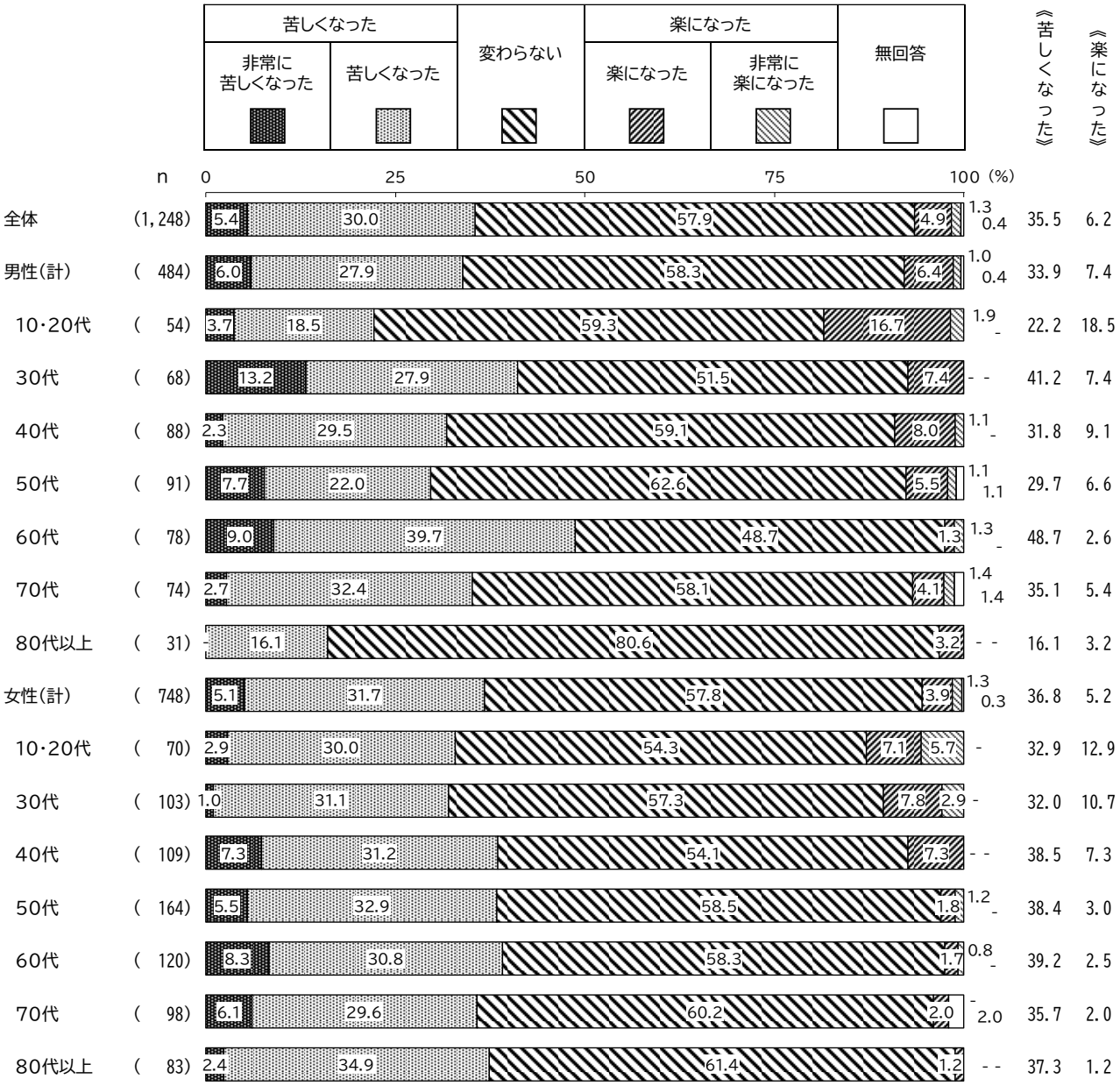
図２－１－２　暮らし向きの変化の推移（全体）



②性・年代別

『苦しくなった』は男性の30代、60代で４割を超えており、女性の40代以上で３割台後半となっている。一方、『楽になった』は男性の10・20代（18.5%）が他の性・年代より高くなっている。「変わらない」は男性の80代以上が８割を超えている。

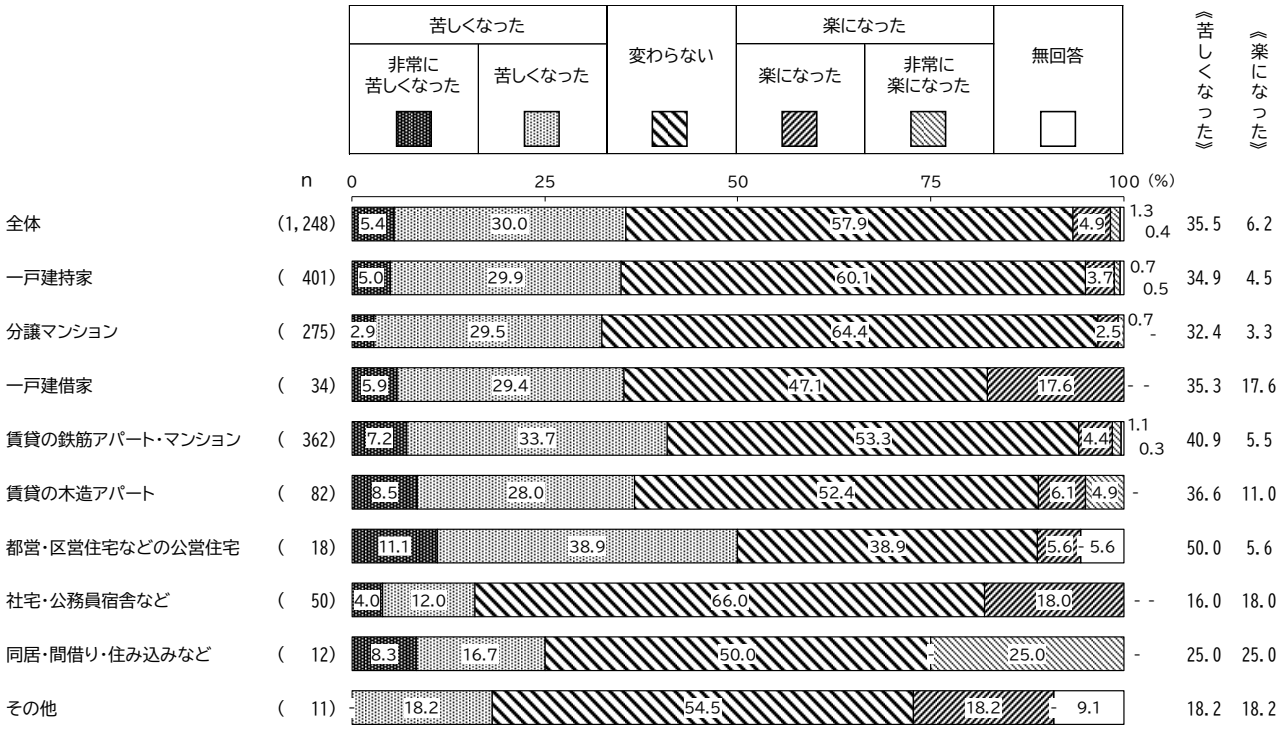
図２－１－３　暮らし向きの変化（性・年代別）



③居住形態別

賃貸の鉄筋アパート・マンションは『苦しくなった』（40.9%）が４割を超えている。一方、『楽になった』は社宅・公務員宿舎など（18.0%）、一戸建借家（17.6%）で高い。

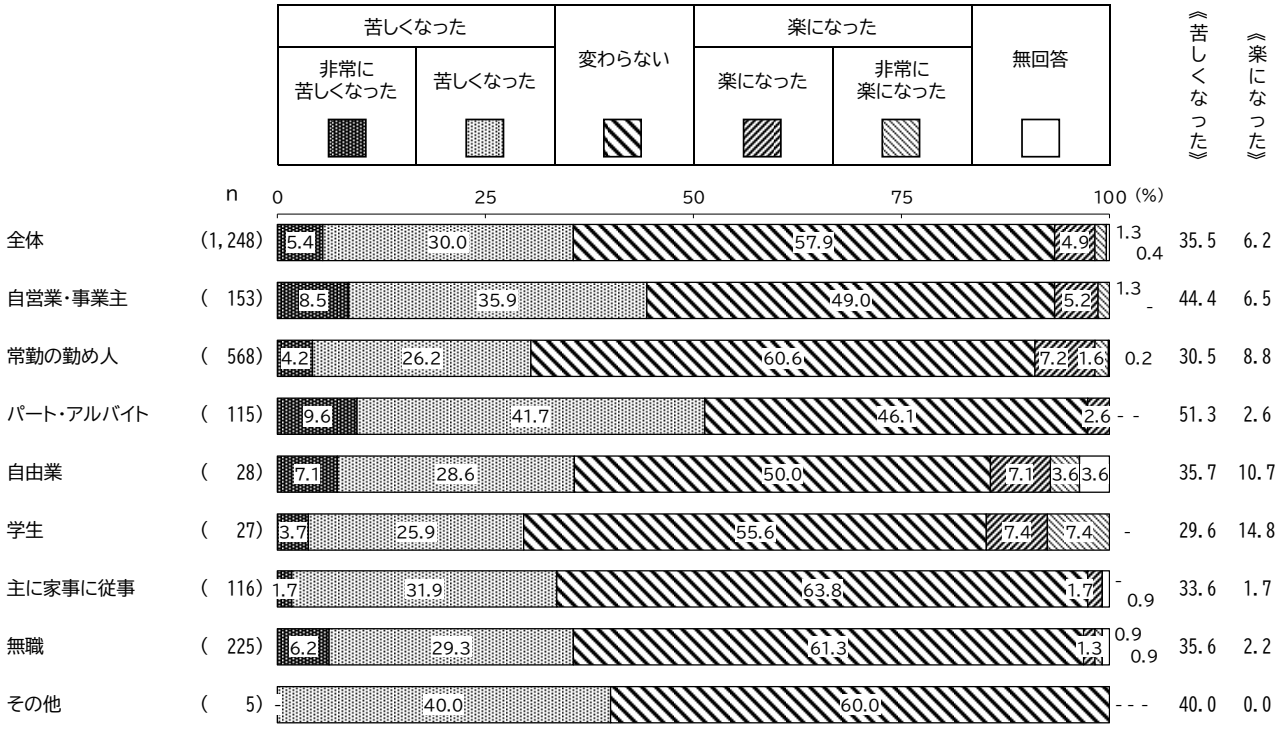
図２－１－４　暮らし向きの変化（居住形態別）



④職業別

『苦しくなった』はパート・アルバイト（51.3%）で5割を超えている。

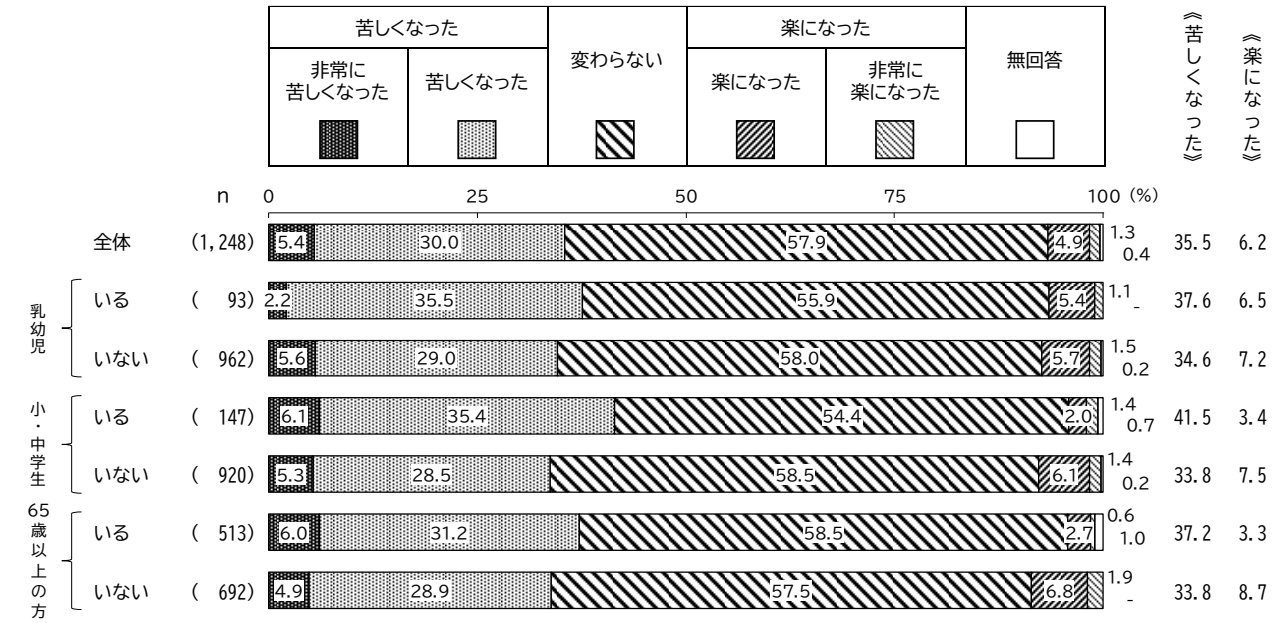
図２－１－５　暮らし向きの変化（職業別）



⑤家族構成別

『苦しくなった』は小・中学生がいる家族（41.5%）で高くなっている。

図２－１－６　暮らし向きの変化（家族構成別）



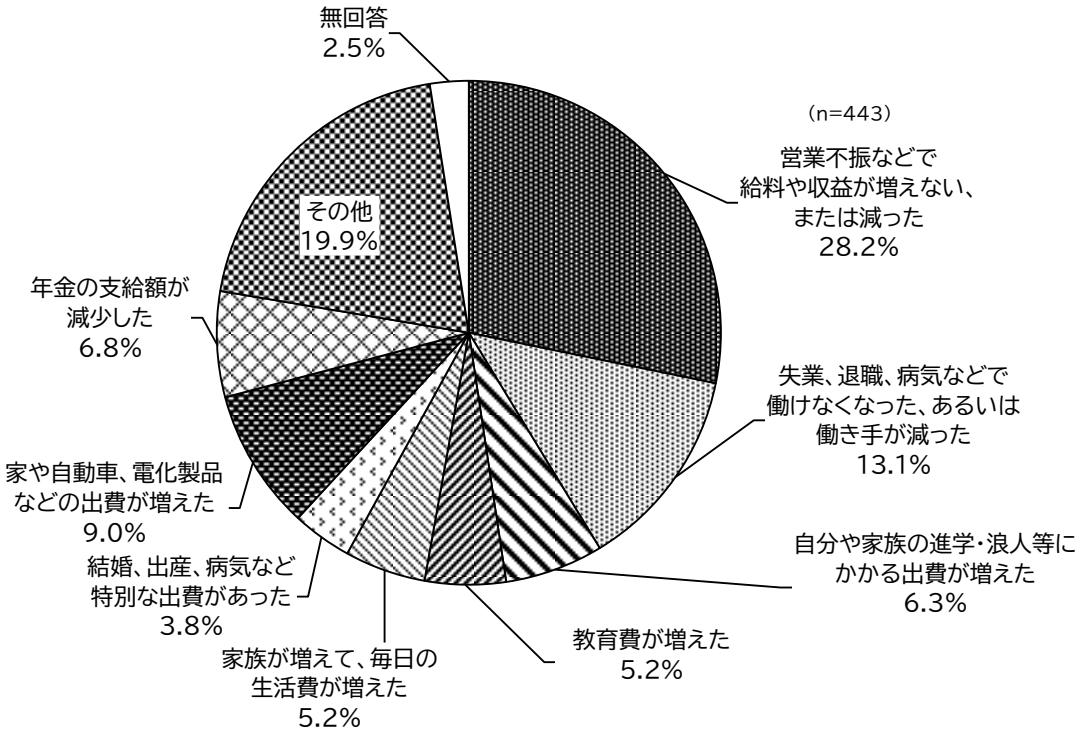
（2）暮らし向きが苦しくなった理由

（問６で「非常に苦しくなった」「苦しくなった」のいずれかに回答した方にお尋ねします。）
問６-１　暮らし向きが苦しくなったのは、主にどのような理由からですか。
（あてはまるもの１つに○）

①全体

「営業不振などで給料や収益が増えない､または減った」が28.2%で最も高く、次いで「その他（19.9%）」、「失業、退職、病気などで働けなくなった、あるいは働き手が減った（13.1%）」となっている。

図２－２－１　暮らし向きが苦しくなった理由（全体）



その他の内容
（一部抜粋、編集）

物価の高騰／家賃の値上がり／税負担が増した／一人暮らしになった／ローン金利の上昇

②性別

「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は男性（31.1%）が高い。また、「家や自動車、電化製品などの出費が増えた」も男性（11.6%）が高い。

表２－２－１　暮らし向きが苦しくなった理由（性別）

（%）

	n	営業不振などで給料や収益が増えない、または減った	失業、退職、病気などで働けなくなった、あるいは働き手が減った	自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた	教育費が増えた（自分や家族の進学・浪人等にかかる出費以外）	家族が増えて、毎日の生活費が増えた	結婚、出産、病気など特別な出費があった	家や自動車、電化製品などの出費が増えた	年金の支給額が減少した	その他	無回答
全　体	443	28.2	13.1	6.3	5.2	5.2	3.8	9.0	6.8	19.9	2.5
男　性	164	31.1	11.0	5.5	4.9	7.3	5.5	11.6	4.3	17.7	1.2
女　性	275	26.5	14.5	6.9	5.5	4.0	2.9	7.6	7.3	21.5	3.3

③年代別

「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は10・20代、40～60代が３割台で高くなっている。「失業、退職、病気などで働けなくなった、あるいは働き手が減った」は70代（21.0%）で高くなっている。「年金の支給額が減少した」は70代以上で高くなっている。「教育費が増えた（自分や家族の進学・浪人等にかかる出費以外）」は40代（15.7%）で高くなっている。

表２－２－２　暮らし向きが苦しくなった理由（年代別）

（%）

	n	営業不振などで給料や収益が増えない、または減った	失業、退職、病気などで働けなくなった、あるいは働き手が減った	自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた	教育費が増えた（自分や家族の進学・浪人等にかかる出費以外）	家族が増えて、毎日の生活費が増えた	結婚、出産、病気など特別な出費があった	家や自動車、電化製品などの出費が増えた	年金の支給額が減少した	その他	無回答
全　体	443	28.2	13.1	6.3	5.2	5.2	3.8	9.0	6.8	19.9	2.5
10･20代	35	34.3	5.7	11.4	5.7	8.6	2.9	8.6	5.7	17.1	0.0
30代	61	29.5	13.1	4.9	1.6	14.8	8.2	8.2	0.0	19.7	0.0
40代	70	30.0	8.6	11.4	15.7	7.1	0.0	10.0	0.0	14.3	2.9
50代	90	38.9	14.4	12.2	8.9	2.2	1.1	7.8	0.0	12.2	2.2
60代	86	33.7	18.6	1.2	1.2	1.2	3.5	7.0	5.8	23.3	4.7
70代	62	11.3	21.0	1.6	0.0	1.6	9.7	8.1	14.5	29.0	3.2
80代以上	36	8.3	0.0	0.0	0.0	2.8	2.8	19.4	33.3	30.6	2.8

④職業別

「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は自営業・事業主（54.4%）で高く、「失業、退職、病気などで働けなくなった、あるいは働き手が減った」は無職（35.0%）で高くなっている。

表２－２－３　暮らし向きが苦しくなった理由（職業別）

（%）

	n	営業不振などで給料や収益が増えない、または減った	失業、退職、病気などで働けなくなった、あるいは働き手が減った	自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた	教育費が増えた（自分や家族の進学・浪人等にかかる出費以外）	家族が増えて、毎日の生活費が増えた	結婚、出産、病気など特別な出費があった	家や自動車、電化製品などの出費が増えた	年金の支給額が減少した	その他	無回答
全　体	443	28.2	13.1	6.3	5.2	5.2	3.8	9.0	6.8	19.9	2.5
自営業・事業主	68	54.4	1.5	10.3	2.9	7.4	2.9	4.4	1.5	8.8	5.9
常勤の勤め人	173	38.2	7.5	7.5	5.2	7.5	4.6	9.2	0.6	19.1	0.6
パート・アルバイト	59	25.4	16.9	5.1	8.5	3.4	5.1	13.6	3.4	13.6	5.1
自由業	10	40.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
学生	8	0.0	12.5	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
主に家事に従事	39	5.1	7.7	2.6	7.7	5.1	2.6	10.3	23.1	33.3	2.6
無職	80	1.3	35.0	0.0	1.3	1.3	2.5	11.3	18.8	26.3	2.5
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0

⑤家族構成別

「家族が増えて、毎日の生活費が増えた」は乳幼児がいる家族（37.1%）が高く、「教育費が増えた」は小・中学生がいる家族（24.6%）、「年金の支給額が減少した」は65歳以上の方がいる家族（14.1%）で高くなっている。

表２－２－４　暮らし向きが苦しくなった理由（家族構成別）

（%）

		n	営業不振などで給料や収益が増えない、または減った	失業、退職、病気などで働けなくなった、あるいは働き手が減った	自分や家族の進学・浪人等にかかる出費が増えた	教育費が増えた（自分や家族の進学・浪人等にかかる出費以外）	家族が増えて、毎日の生活費が増えた	結婚、出産、病気など特別な出費があった	家や自動車、電化製品などの出費が増えた	年金の支給額が減少した	その他	無回答
全　体		443	28.2	13.1	6.3	5.2	5.2	3.8	9.0	6.8	19.9	2.5
乳幼児	いる	35	5.7	5.7	2.9	11.4	37.1	2.9	17.1	0.0	14.3	2.9
	いない	333	32.7	14.1	8.1	5.4	2.4	4.2	9.0	4.8	18.0	1.2
小・中学生	いる	61	16.4	3.3	18.0	24.6	11.5	1.6	6.6	1.6	14.8	1.6
	いない	311	33.4	15.4	5.5	2.6	4.5	4.8	10.0	4.8	17.7	1.3
65歳以上の方	いる	191	20.9	16.8	1.6	1.6	2.1	5.8	11.0	14.1	21.5	4.7
	いない	234	34.6	10.7	10.7	7.3	8.1	2.6	8.1	1.3	16.7	0.0

3　防災

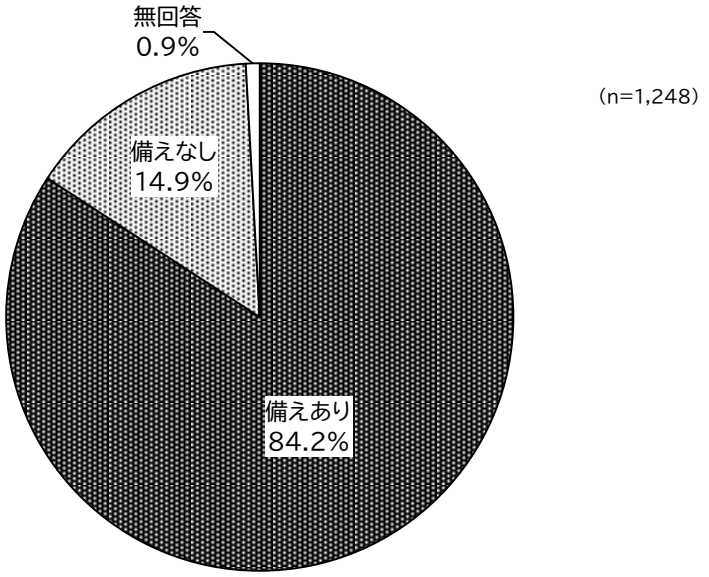
（1）災害時に備えて行っていること

問7　災害時に備えていますか。（あてはまるものすべてに〇）

①全体

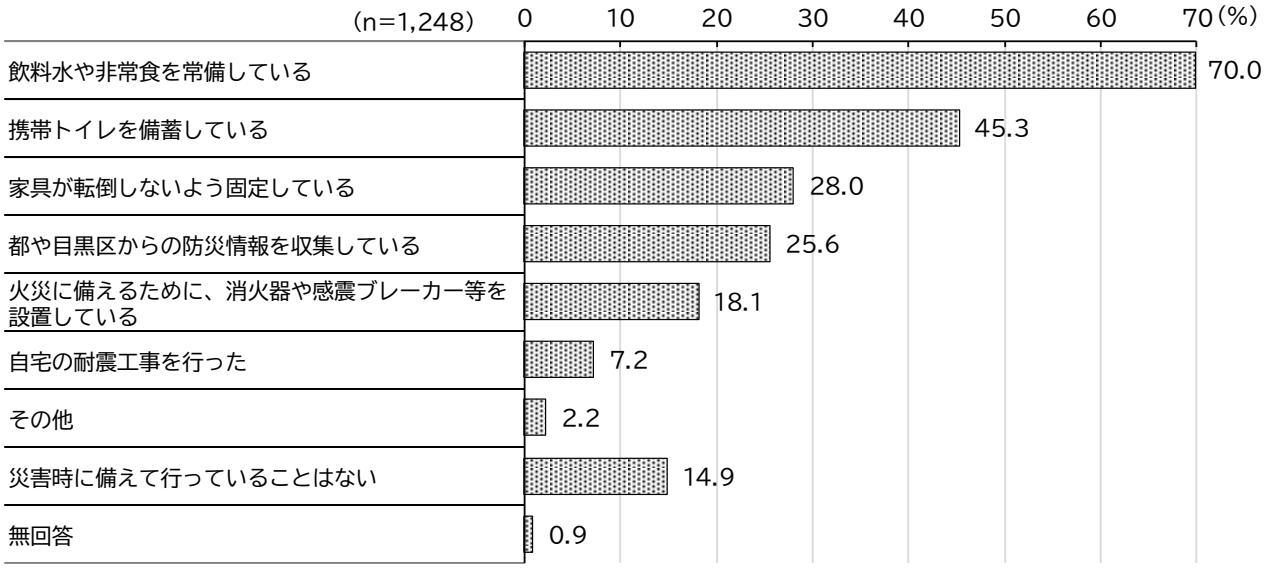
災害時の「備えあり」は84.2%、「備えなし」は14.9%となっている。また、備えて行っていることは「飲料水や非常食を常備している」が70.0%で最も高く、次いで「携帯トイレを備蓄している（45.3%）」となっている。

図3－1－1　災害時に備えているか（全体）



（注）このグラフは「災害時に備えて行っていることはない」を選んだ方を「備えなし」、それ以外の選択肢を選んだ方を「備えあり」として集計している。

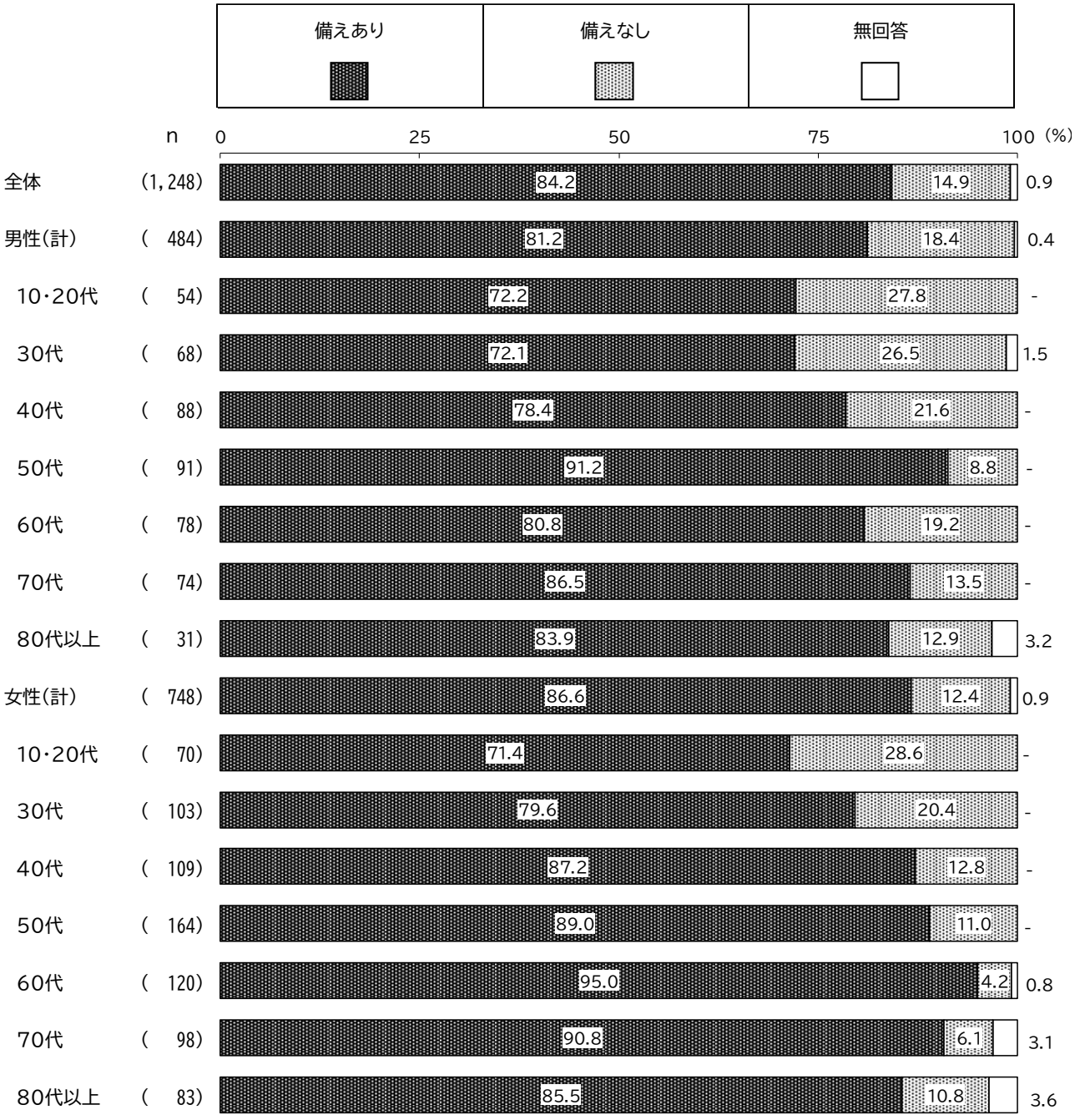
図3－1－2　災害時に備えて行っていること（全体）



②性・年代別

「備えあり」は男性の50代、女性の60～70代で9割を超えている。一方で、「備えなし」は男女ともに10・20代が最も高く、男性の10・20代は27.8%、女性の10・20代は28.6%となっている。

図３－１－３　災害時に備えているか（性・年代別）



③性別

「飲料水や非常食を常備している」は女性が75.0%と男性と比べて高くなっている。「携帯トイレを備蓄している」についても、女性が51.6%と男性と比べて高くなっている。

表３－１－１　災害時に備えて行っていること（性別）

（%）

	n	飲料水や非常食を常備している	携帯トイレを備蓄している	家具が転倒しないよう固定している	都や目黒区からの防災情報を収集している	火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している	自宅の耐震工事を行った	その他	災害時に備えて行っていることはない	無回答
全　体	1,248	70.0	45.3	28.0	25.6	18.1	7.2	2.2	14.9	0.9
男　性	484	63.4	36.2	28.9	24.8	19.2	7.4	2.3	18.4	0.4
女　性	748	75.0	51.6	27.3	26.2	17.5	7.0	2.3	12.4	0.9

④年代別

「携帯トイレを備蓄している」は50代で58.2%と他の年代と比べて高くなっている。「家具が転倒しないよう固定している」は60代以上で3割を超えている。「火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している」は70代以上で2割台後半と高くなっている。

表３－１－２　災害時に備えて行っていること（年代別）

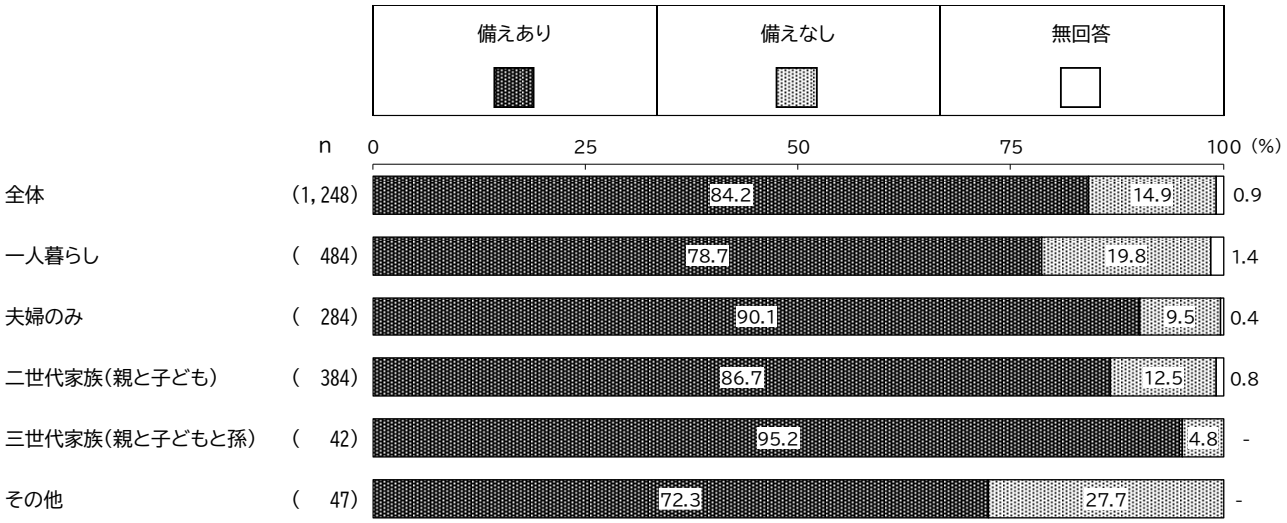
（%）

	n	飲料水や非常食を常備している	携帯トイレを備蓄している	家具が転倒しないよう固定している	都や目黒区からの防災情報を収集している	火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している	自宅の耐震工事を行った	その他	災害時に備えて行っていることはない	無回答
全　体	1,248	70.0	45.3	28.0	25.6	18.1	7.2	2.2	14.9	0.9
10･20代	124	57.3	24.2	16.9	12.9	11.3	4.8	0.0	28.2	0.0
30代	171	64.3	42.1	18.7	18.1	11.1	2.9	1.2	22.8	0.6
40代	197	70.6	43.7	26.9	22.8	12.2	4.6	1.5	16.8	0.0
50代	256	75.0	58.2	26.2	34.0	20.3	7.0	2.3	10.2	0.0
60代	200	71.0	46.5	32.5	28.0	17.0	8.0	5.0	10.5	0.5
70代	173	75.1	45.7	38.2	32.4	28.3	12.7	2.3	9.2	1.7
80代以上	118	72.9	45.8	35.6	22.0	28.8	11.9	2.5	12.7	3.4

⑤世帯構成別

「備えあり」は夫婦のみ、三世代家族（親と子どもと孫）で9割を超えている。「備えなし」はその他で27.7%、一人暮らしで19.8%と高くなっている。

図３－１－４　災害時に備えているか（世帯構成別）



⑥居住形態別

分譲マンションは「飲料水や非常食を常備している」で80.4%、「携帯トイレを備蓄している」で57.5%と、それぞれ他の居住形態と比べて高くなっている。「都や目黒区からの防災情報を収集している」は社宅・公務員宿舎などで34.0%と高くなっている。「災害時に備えて行っていることはない」は賃貸の木造アパートで30.5%、賃貸の鉄筋アパート・マンションで22.7%とそれぞれ高くなっている。

表３－１－３　災害時に備えて行っていること（居住形態別）

（%）

	n	飲料水や非常食を常備している	携帯トイレを備蓄している	家具が転倒しないよう固定している	都や目黒区からの防災情報を収集している	火災に備えるために、消火器や感震ブレーカー等を設置している	自宅の耐震工事を行った	その他	災害時に備えて行っていることはない	無回答
全　体	1,248	70.0	45.3	28.0	25.6	18.1	7.2	2.2	14.9	0.9
一戸建持家	401	74.1	48.1	35.7	28.9	26.4	18.5	2.2	9.7	1.5
分譲マンション	275	80.4	57.5	32.4	28.4	19.3	2.5	2.9	8.4	0.4
一戸建借家	34	67.6	44.1	14.7	17.6	11.8	8.8	2.9	14.7	0.0
賃貸の鉄筋アパート・マンション	362	62.4	39.5	19.1	21.3	9.7	0.6	1.7	22.7	0.6
賃貸の木造アパート	82	52.4	24.4	15.9	13.4	6.1	0.0	1.2	30.5	0.0
都営・区営住宅などの公営住宅	18	66.7	33.3	33.3	27.8	16.7	5.6	5.6	16.7	0.0
社宅・公務員宿舎など	50	70.0	46.0	32.0	34.0	20.0	2.0	2.0	10.0	0.0
同居・間借り・住み込みなど	12	58.3	25.0	33.3	25.0	25.0	8.3	0.0	25.0	0.0
その他	11	63.6	27.3	36.4	36.4	54.5	9.1	9.1	9.1	18.2

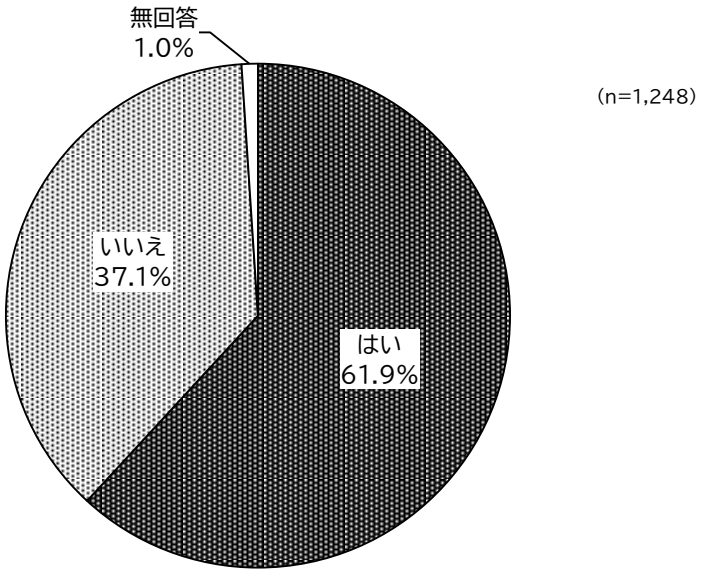
（２）在宅避難の認知度

問８　在宅避難という言葉を知っていますか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「はい」が61.9%、「いいえ」が37.1%となっている。

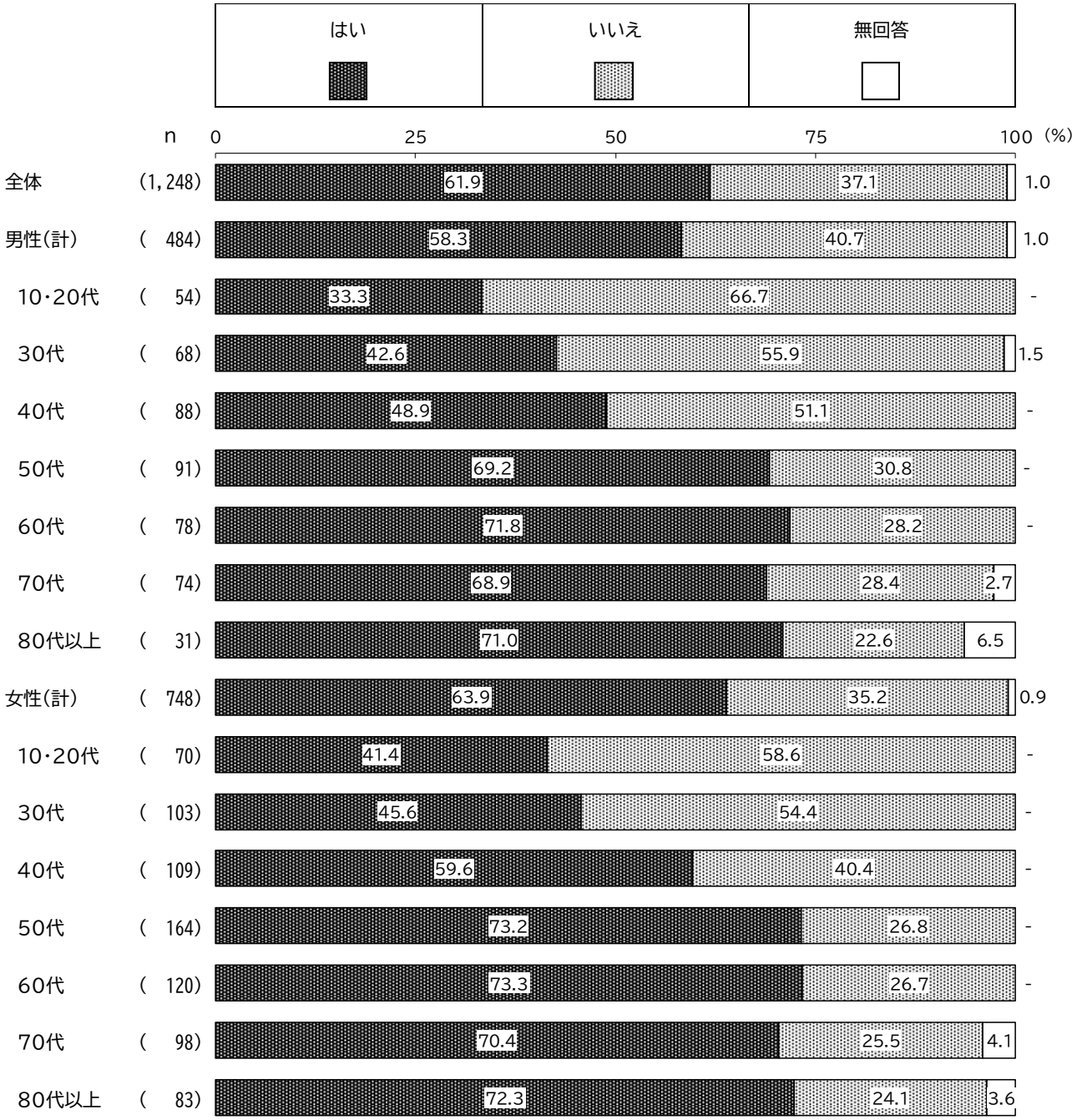
図３－２－１　在宅避難の認知度（全体）



②性・年代別

「はい」は男女ともに10・20代が他の年代と比べて低く、男女とも50代以上は7割前後となっている。

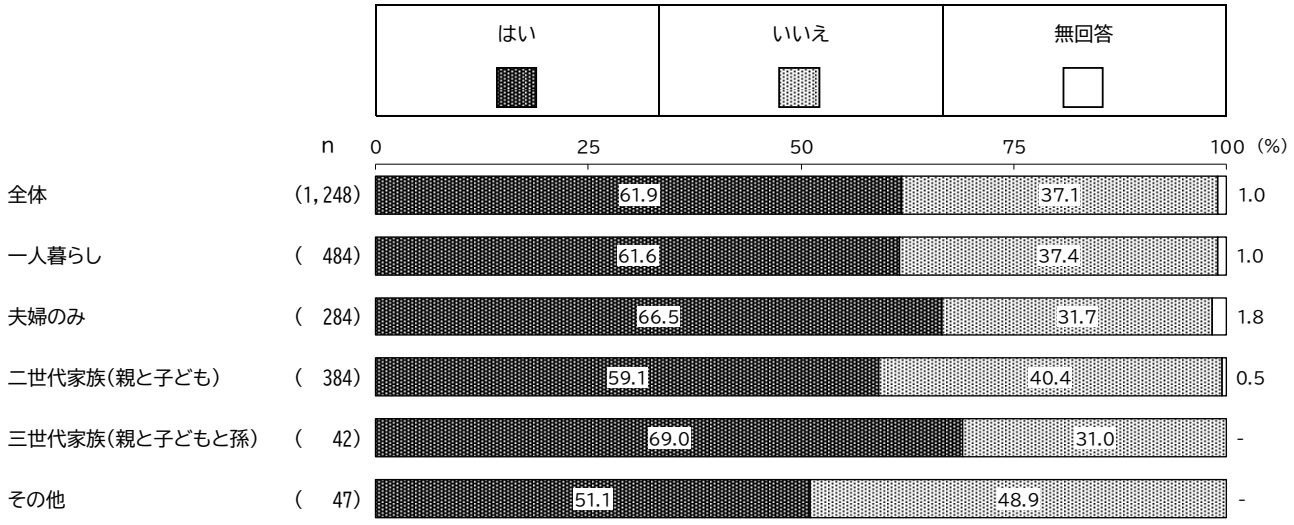
図３－２－２　在宅避難の認知度（性・年代別）



③世帯構成別

「はい」は三世代家族（69.0%）や夫婦のみ（66.5%）の世帯で高く、その他（51.1%）で低くなっている。

図３－２－３　在宅避難の認知度（世帯構成別）



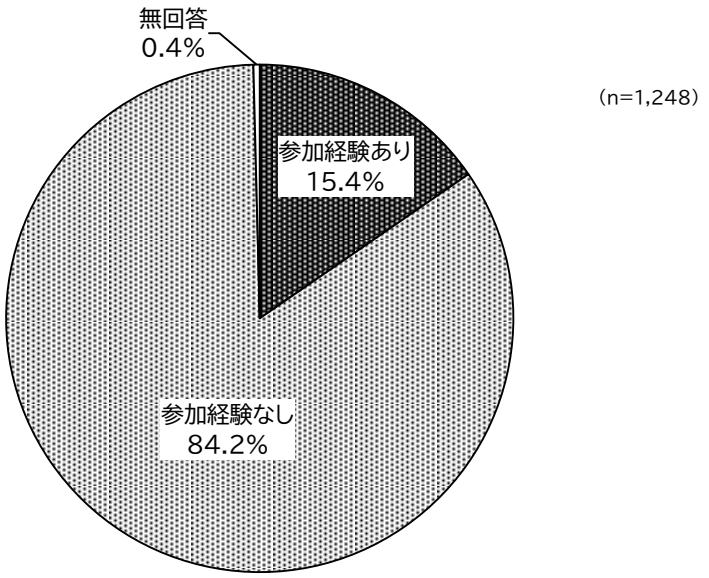
（3）防災訓練・防災イベントへの参加経験の有無

問9　区内で実施されている防災訓練・防災イベント(めぐろ防災フェスタ・防災講演会等）に参加したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

①全体

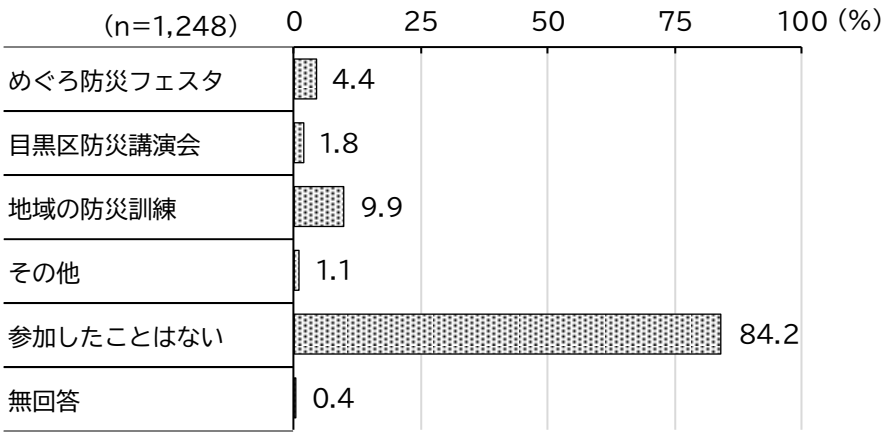
「参加経験あり」が15.4%、「参加経験なし」が84.2%となっている。参加した防災訓練・イベントでは、「地域の防災訓練」が9.9%と最も高くなっている。

図3－3－1　防災訓練・防災イベントへの参加経験の有無（全体）



（注）このグラフは「参加したことはない」を選んだ方を「参加経験なし」、それ以外の選択肢を選んだ方を「参加経験あり」として集計している。

図3－3－2　参加した防災訓練・防災イベント（全体）



②性別

「参加したことはない」は男性で85.7%と、女性に比べて高くなっている。

表３－３－１　参加した防災訓練・防災イベント（性別）

（%）

	n	めぐろ防災フェスタ	目黒区防災講演会	地域の防災訓練	その他	参加したことはない	無回答
全　体	1,248	4.4	1.8	9.9	1.1	84.2	0.4
男　性	484	4.3	1.4	9.3	1.7	85.7	0.0
女　性	748	4.3	2.0	10.3	0.8	83.4	0.7

③年代別

「地域の防災訓練」は70代以上で1割台後半と高くなっている。「参加したことはない」は30代以下で9割を超えている。

表３－３－２　参加した防災訓練・防災イベント（年代別）

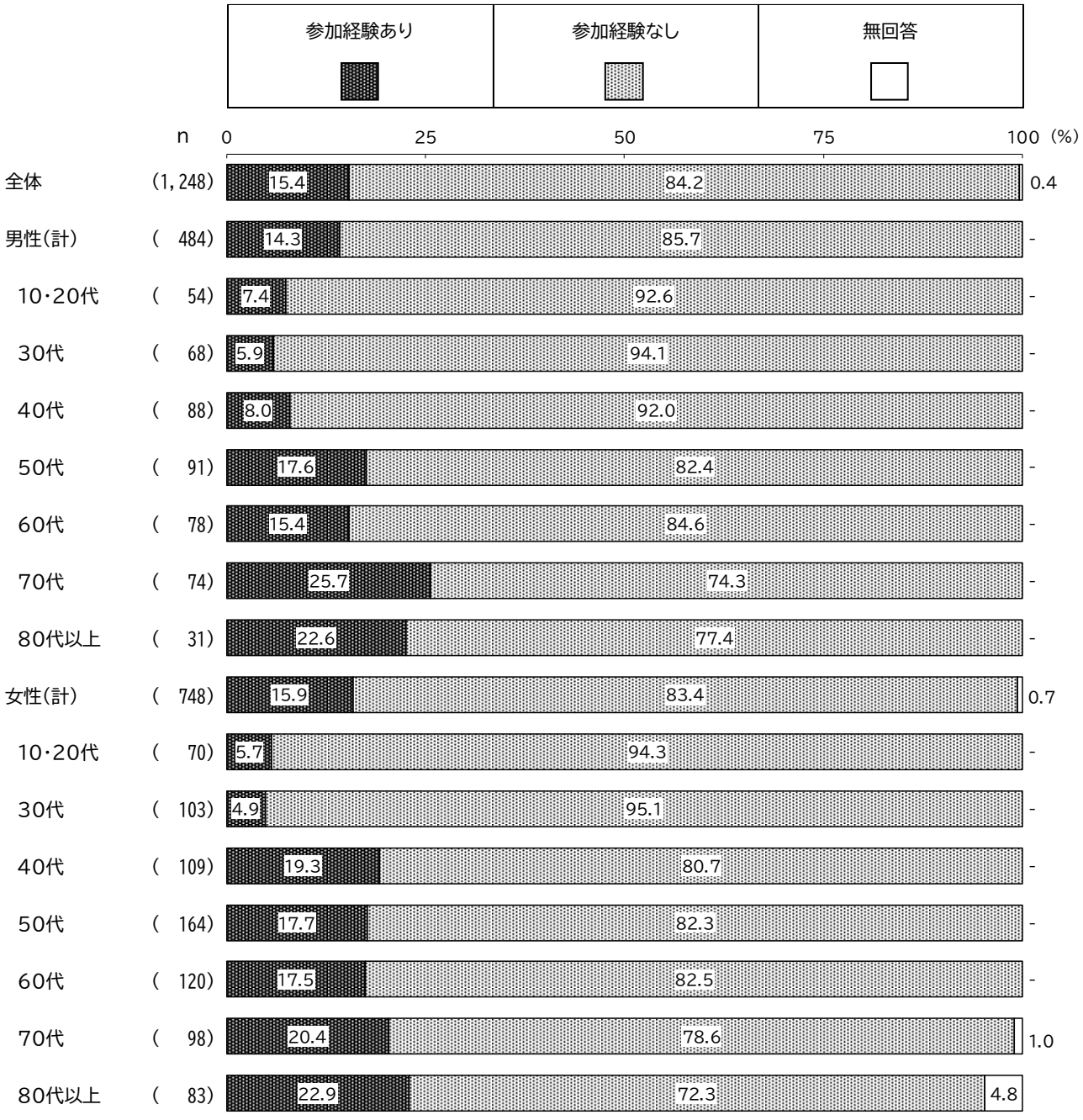
（%）

	n	めぐろ防災フェスタ	目黒区防災講演会	地域の防災訓練	その他	参加したことはない	無回答
全　体	1,248	4.4	1.8	9.9	1.1	84.2	0.4
10･20代	124	2.4	2.4	1.6	0.8	93.5	0.0
30代	171	4.1	0.0	1.2	0.6	94.7	0.0
40代	197	6.6	2.0	8.1	0.5	85.8	0.0
50代	256	5.1	2.0	10.9	0.8	82.4	0.0
60代	200	4.0	1.5	11.5	2.5	83.5	0.0
70代	173	5.2	2.3	17.9	0.6	76.9	0.6
80代以上	118	0.8	3.4	16.9	2.5	73.7	3.4

④性・年代別

「参加経験あり」は男女ともに70代以上で2割を超えて高くなっている。一方で、「参加経験なし」は男女ともに30代以下で9割を超えている。

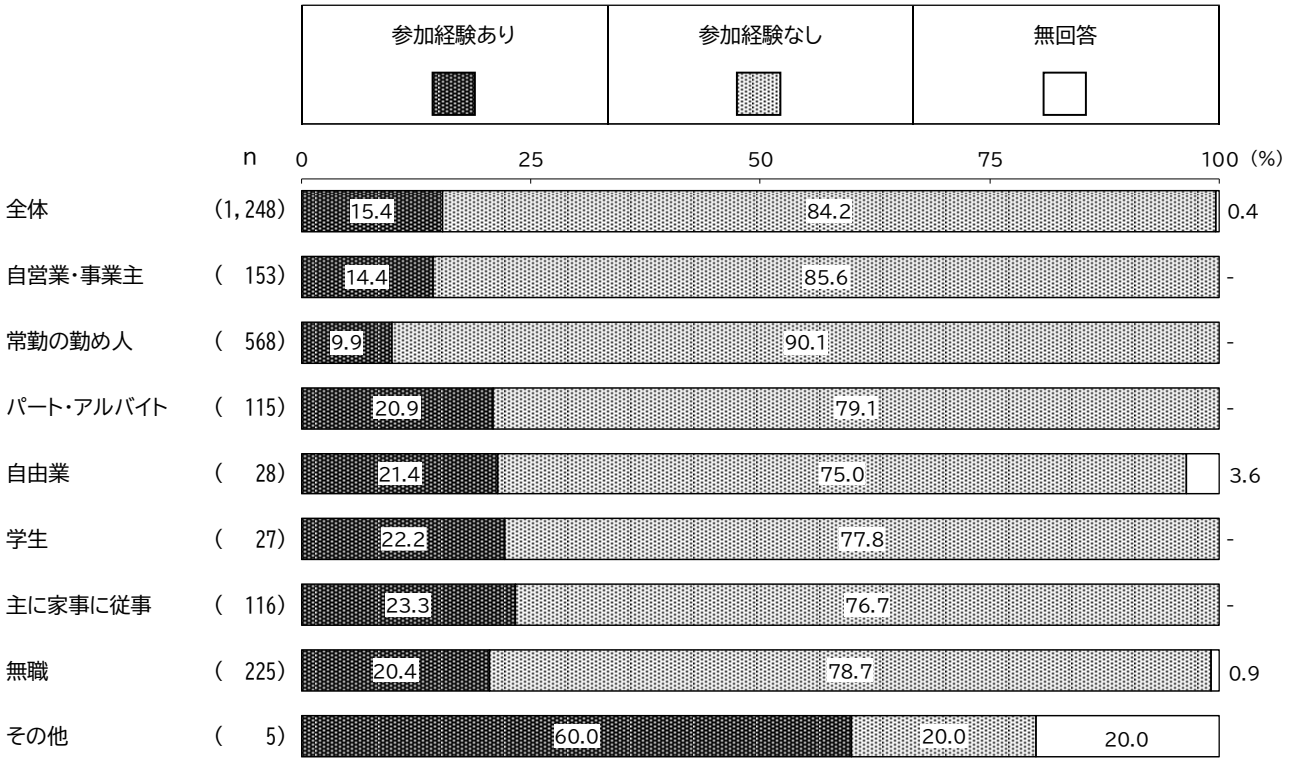
図３－３－３　防災訓練・防災イベントへの参加経験の有無（性・年代別）



⑤職業別

「参加経験なし」は常勤の勤め人で90.1%と、他の職業と比べて高くなっている。

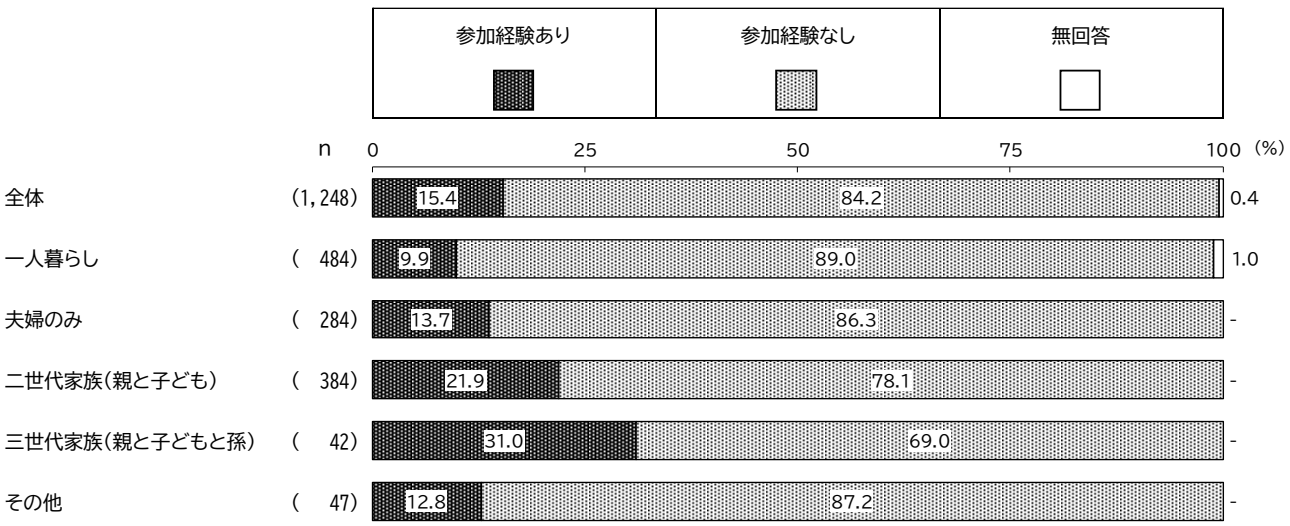
図３－３－４　防災訓練・防災イベントへの参加経験の有無（職業別）



⑥世帯構成別

「参加経験あり」は三世代家族（親と子どもと孫）で31.0%、二世代家族（親と子ども）で21.9%とそれぞれ高くなっている。「参加経験なし」は一人暮らしで89.0%と高くなっている。

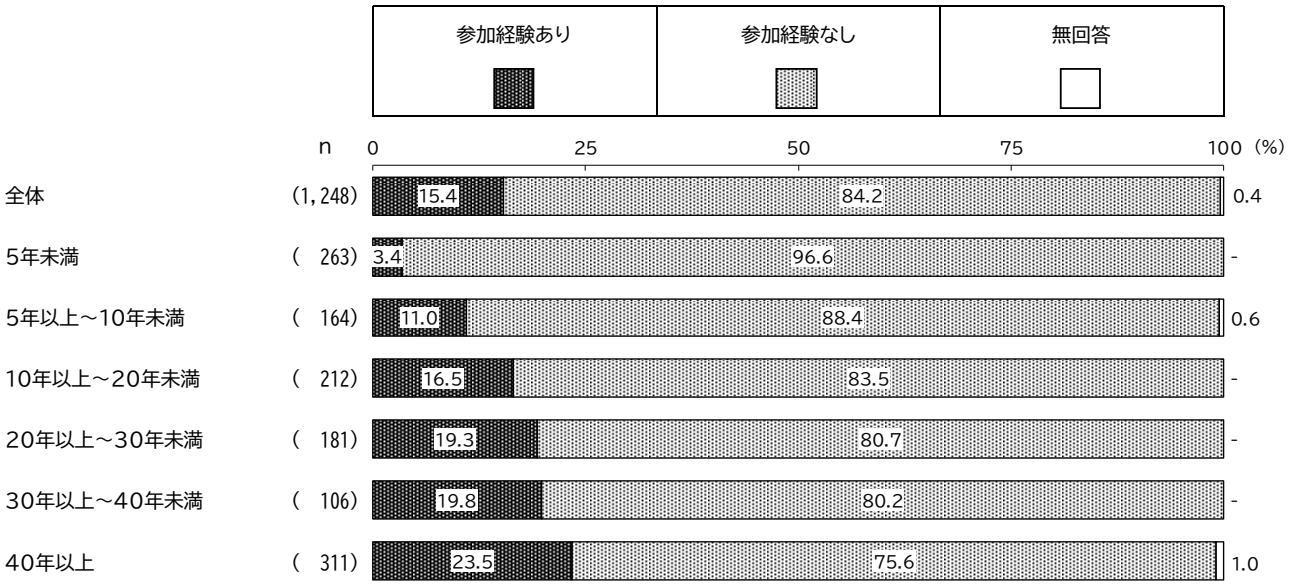
図３－３－５　防災訓練・防災イベントへの参加経験の有無（世帯構成別）



⑦居住年数別

居住年数が長くなるほど「参加経験あり」の割合が高くなる傾向となっている。

図３－３－６　防災訓練・防災イベントへの参加経験の有無（居住年数別）



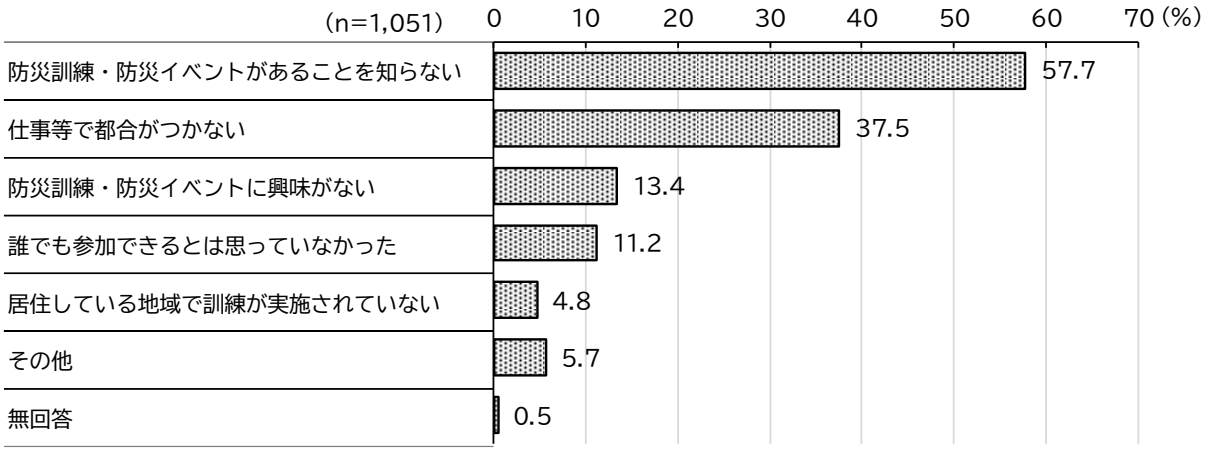
（4）防災訓練・防災イベントに参加しない理由

（問9で「参加したことはない」と回答した方にお尋ねします。）
問9-1　防災訓練・防災イベントに参加していない理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

①全体

「防災訓練・防災イベントがあることを知らない」が57.7%で最も高くなっている。次いで「仕事等で都合がつかない（37.5%）」となっている。

図３－４－１　防災訓練に参加しない理由（全体）



②性・年代別

「防災訓練・防災イベントがあることを知らない」は男女ともに10・20代が7割台と高く、女性の30代も68.4%と他の性・年代と比べて高くなっている。「仕事等で都合がつかない」は男性では50代、女性では40～50代で4割台後半と高くなっている。「防災訓練・防災イベントに興味がない」は男性の10・20代、40代が2割を超えている。

表３－４－１　防災訓練に参加しない理由（性・年代別）

（%）

	n	防災訓練・防災イベントがあることを知らない	仕事等で都合がつかない	防災訓練・防災イベントに興味がない	誰でも参加できるとは思っていなかった	居住している地域で訓練が実施されていない	その他	無回答
全　体	1,051	57.7	37.5	13.4	11.2	4.8	5.7	0.5
男性 計	415	57.1	37.6	16.4	8.7	5.1	3.9	0.5
10･20代	50	70.0	36.0	22.0	6.0	0.0	0.0	0.0
30代	64	59.4	40.6	17.2	6.3	0.0	0.0	0.0
40代	81	56.8	37.0	27.2	9.9	1.2	0.0	0.0
50代	75	56.0	46.7	10.7	8.0	8.0	4.0	0.0
60代	66	57.6	40.9	15.2	10.6	6.1	4.5	0.0
70代	55	45.5	32.7	9.1	9.1	10.9	3.6	3.6
80代以上	24	54.2	8.3	4.2	12.5	16.7	33.3	0.0
女性 計	624	58.2	37.8	11.5	12.0	4.5	7.1	0.5
10･20代	66	74.2	42.4	10.6	6.1	1.5	0.0	0.0
30代	98	68.4	38.8	14.3	7.1	0.0	2.0	0.0
40代	88	56.8	48.9	19.3	9.1	1.1	2.3	0.0
50代	135	58.5	48.1	12.6	12.6	3.0	3.0	0.0
60代	99	56.6	44.4	7.1	13.1	7.1	5.1	0.0
70代	77	50.6	19.5	9.1	16.9	11.7	10.4	2.6
80代以上	60	38.3	3.3	5.0	21.7	10.0	38.3	1.7

③世帯構成別

「防災訓練・防災イベントがあることを知らない」は夫婦のみで61.2%、「仕事等で都合がつかない」はその他で43.9%と、それぞれ他の世帯構成と比べて高くなっている。

表３－４－２　防災訓練に参加しない理由（世帯構成別）

（%）

	n	防災訓練・防災イベントがあることを知らない	仕事等で都合がつかない	防災訓練・防災イベントに興味がない	誰でも参加できるとは思っていなかった	居住している地域で訓練が実施されていない	その他	無回答
全　体	1,051	57.7	37.5	13.4	11.2	4.8	5.7	0.5
一人暮らし	431	59.6	41.3	11.6	14.2	3.9	5.3	0.5
夫婦のみ	245	61.2	30.6	14.3	8.2	8.6	6.5	1.2
二世代家族（親と子ども）	300	53.7	37.0	15.7	9.7	3.3	4.3	0.0
三世代家族（親と子どもと孫）	29	41.4	37.9	13.8	17.2	3.4	13.8	0.0
その他	41	58.5	43.9	9.8	2.4	2.4	9.8	0.0

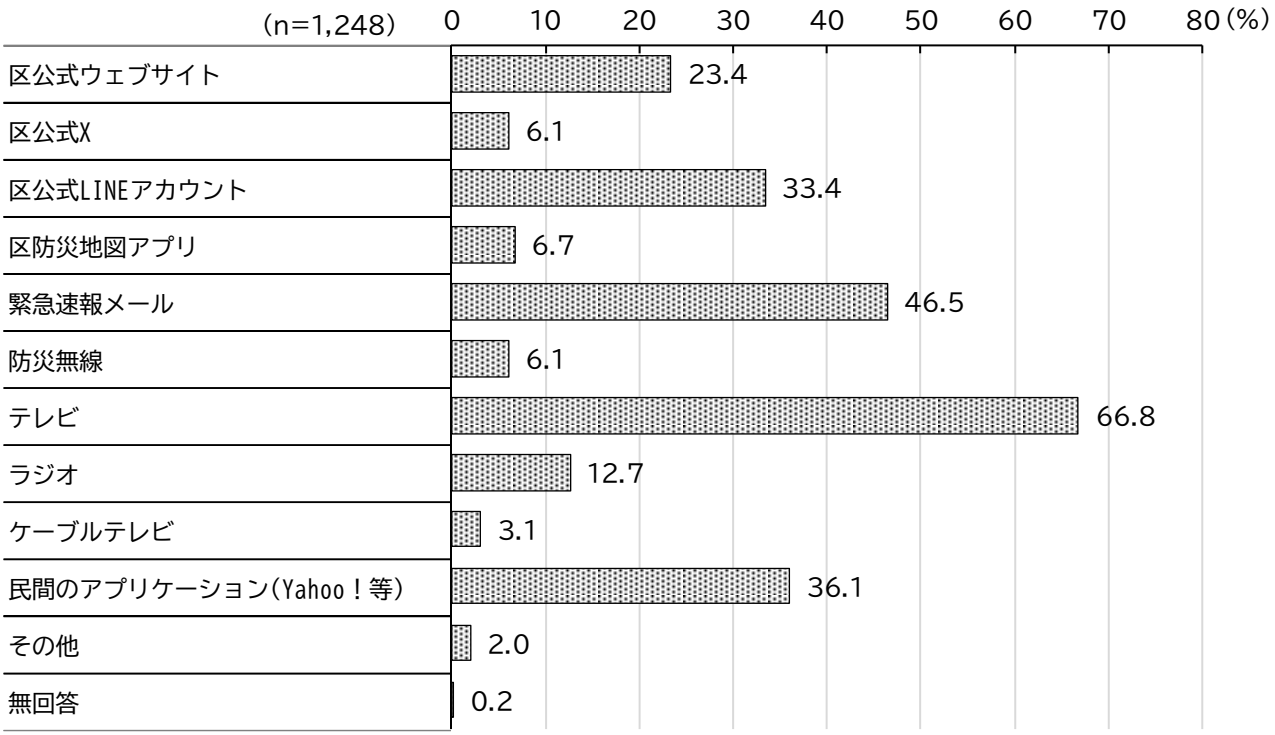
（５）災害情報収集の手段

問10　あなたが災害情報を収集する手段は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

①全体

「テレビ」が66.8%で最も高く、次いで「緊急速報メール（46.5%）」、「民間のアプリケーション（Yahoo！等）（36.1%）」、「区公式LINEアカウント（33.4%）」となっている。

図３－５－１　災害情報収集の手段（全体）



②性・年代別

「テレビ」は男性の60代以上、女性の50代以上で7割を超えている。「緊急速報メール」は男性では60代（59.0%）、女性では40代（60.6%）が高くなっている。「民間のアプリケーション（Yahoo！等）」は男女ともに30代以降は年代が高くなると割合が低くなる傾向となっている。

表３－５－１　災害情報収集の手段（性・年代別）

（%）

	n	区公式ウェブサイト	区公式X	区公式LINEアカウント	区防災地図アプリ	緊急速報メール	防災無線	テレビ	ラジオ	ケーブルテレビ	民間のアプリケーション（Yahoo！等）	その他	無回答
全　体	1,248	23.4	6.1	33.4	6.7	46.5	6.1	66.8	12.7	3.1	36.1	2.0	0.2
男性 計	484	24.4	4.3	31.6	6.2	44.0	7.2	62.8	13.8	4.8	40.7	2.1	0.0
10･20代	54	13.0	14.8	16.7	7.4	37.0	1.9	38.9	1.9	0.0	51.9	1.9	0.0
30代	68	19.1	2.9	20.6	2.9	30.9	1.5	54.4	14.7	0.0	45.6	4.4	0.0
40代	88	22.7	5.7	34.1	2.3	46.6	9.1	51.1	8.0	1.1	45.5	3.4	0.0
50代	91	30.8	2.2	52.7	8.8	48.4	11.0	67.0	16.5	5.5	48.4	0.0	0.0
60代	78	25.6	1.3	28.2	5.1	59.0	5.1	70.5	12.8	7.7	46.2	0.0	0.0
70代	74	33.8	4.1	33.8	8.1	43.2	10.8	79.7	29.7	13.5	18.9	0.0	0.0
80代以上	31	16.1	0.0	16.1	12.9	29.0	9.7	83.9	6.5	3.2	12.9	9.7	0.0
女性 計	748	23.0	7.4	35.2	7.0	48.4	5.5	69.5	11.8	2.1	33.4	1.9	0.3
10･20代	70	18.6	12.9	15.7	1.4	41.4	7.1	60.0	2.9	0.0	41.4	0.0	0.0
30代	103	13.6	13.6	36.9	3.9	39.8	3.9	50.5	1.9	0.0	47.6	1.0	0.0
40代	109	29.4	11.9	45.0	3.7	60.6	4.6	52.3	11.0	0.9	47.7	0.9	0.0
50代	164	25.6	7.3	50.6	8.5	56.7	8.5	72.6	9.1	1.2	39.6	0.6	0.0
60代	120	36.7	3.3	43.3	7.5	50.0	5.8	73.3	10.8	3.3	33.3	1.7	0.8
70代	98	20.4	1.0	26.5	12.2	46.9	3.1	92.9	15.3	4.1	14.3	2.0	0.0
80代以上	83	8.4	2.4	4.8	9.6	31.3	3.6	84.3	34.9	6.0	0.0	8.4	1.2

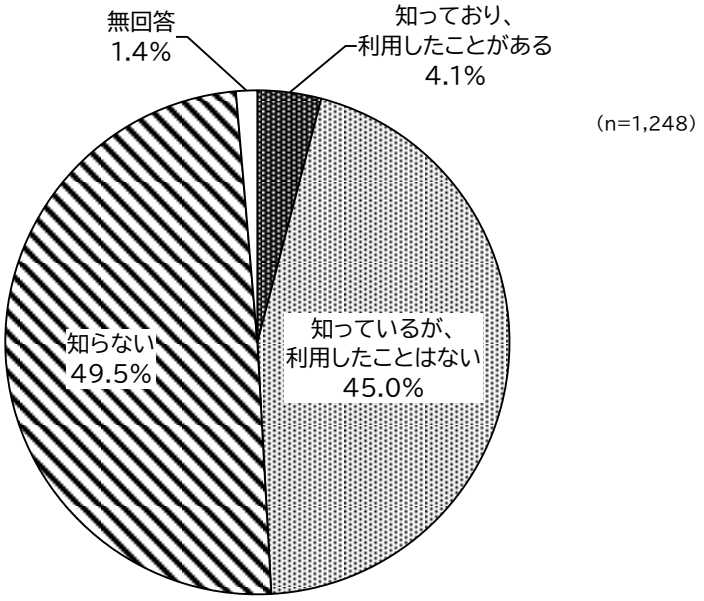
（６）耐震化助成の認知度

問11　建築物の耐震診断や改修工事に関する助成制度があることを知っていますか。
（あてはまるもの１つに○）

①全体

「知らない」が49.5%で最も高く、「知っており、利用したことがある（4.1%）」と「知っているが、利用したことはない（45.0%）」を合わせた『知っている』は49.1%を占める。

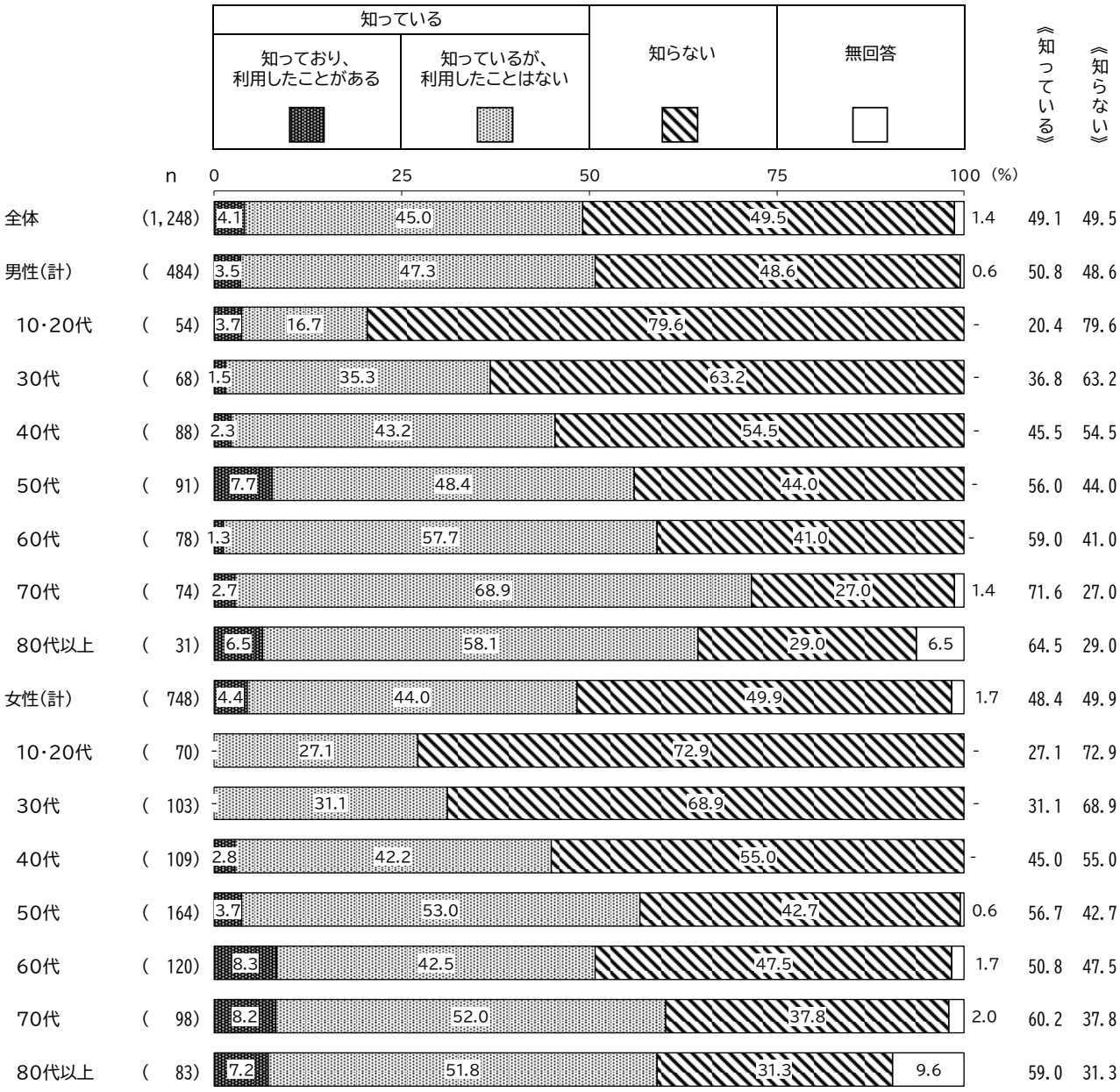
図３－６－１　耐震化助成の認知度（全体）



②性・年代別

『知っている』は男性の70代以上、女性の70代で6割を超えている。また、『知らない』の割合は、男女ともに10・20代が他の年代と比べて高くなっている。

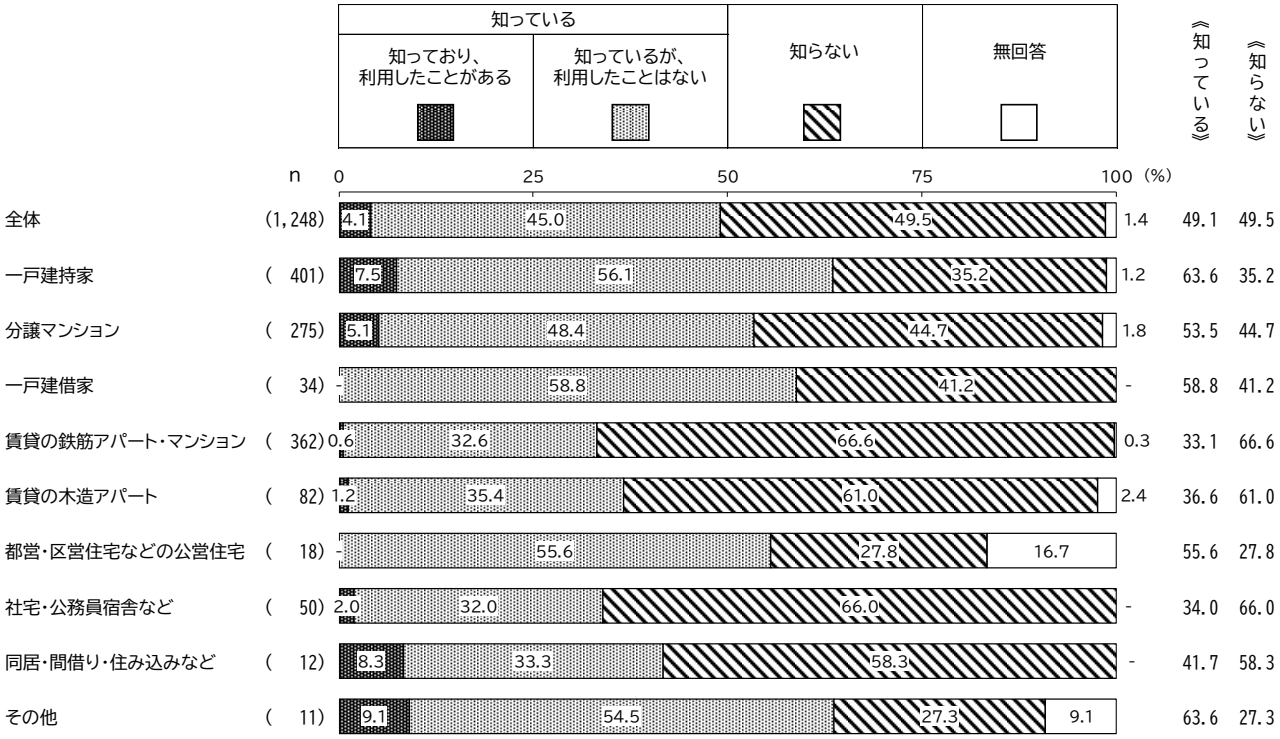
図３－６－２　耐震化助成の認知度（性・年代別）



③居住形態別

『知っている』は「一戸建持家（63.6%）」、「一戸建借家（58.8%）」で高くなっている。『知らない』は「賃貸の鉄筋アパート・マンション（66.6%）」、「社宅・公務員宿舎など（66.0%）」、「賃貸の木造アパート（61.0%）」で高くなっている。

図３－６－３　耐震化助成の認知度（居住形態別）



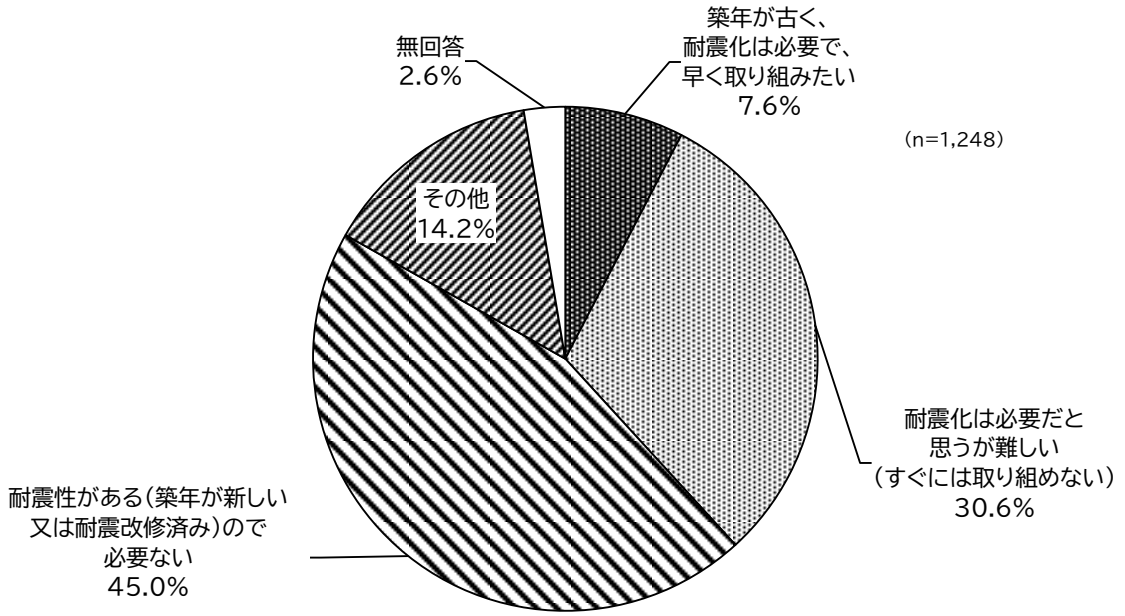
（7）耐震化の必要性と意向

問12　お住いの住宅の耐震化の必要性についてどう考えていますか。
（あてはまるもの１つに○）

①全体

「耐震性がある（築年が新しい又は耐震改修済み）ので必要ない」が45.0%で最も高く、次いで「耐震化は必要だと思うが難しい（すぐには取り組めない）（30.6%）」となっている。

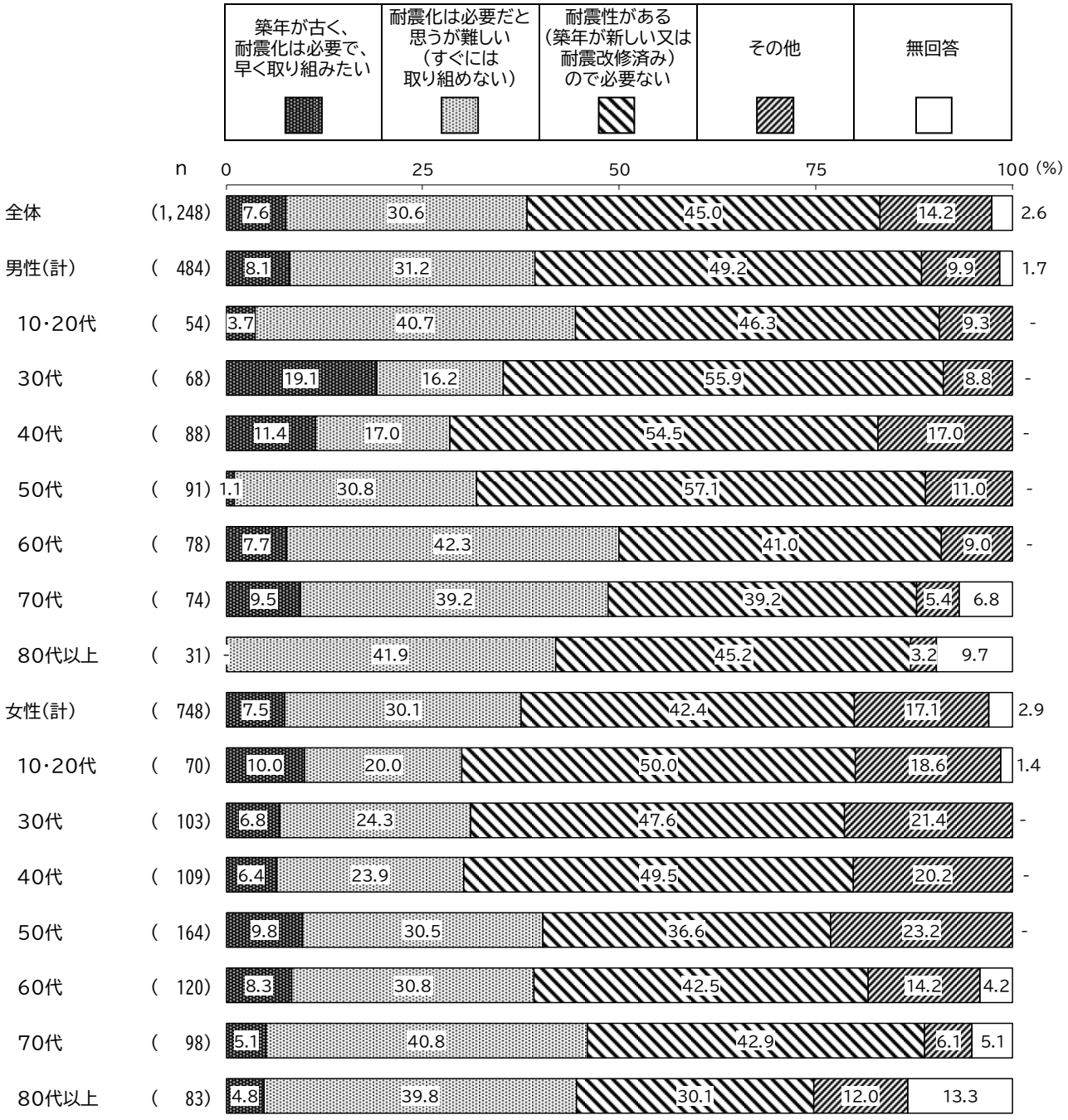
図３－７－１　耐震化の必要性と意向（全体）



②性・年代別

「築年が古く、耐震化は必要で、早く取り組みたい」は男性の30代で19.1%と高くなっている。「耐震化は必要だと思うが難しい（すぐには取り組めない）」は男性の10・20代、60代、80代以上、女性の70代で4割を超えている。

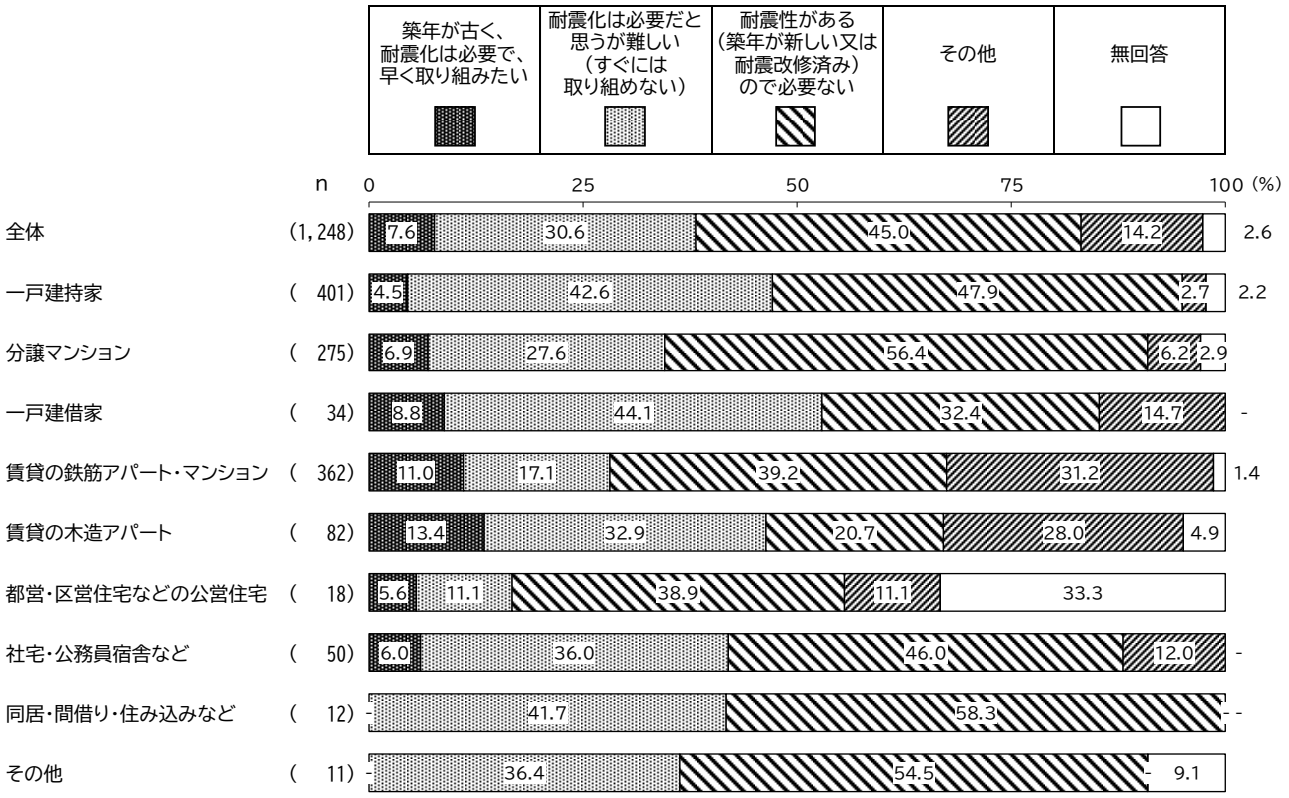
図３－７－２　耐震化の必要性と意向（性・年代別）



③居住形態別

「耐震化は必要だと思うが難しい（すぐには取り組めない）」は「一戸建借家（44.1%）」、「一戸建持家（42.6%）」で高く、「耐震性がある（築年が新しい又は耐震改修済み）ので必要ない」は「分譲マンション（56.4%）」で高くなっている。

図３－７－３　耐震化の必要性と意向（居住形態別）



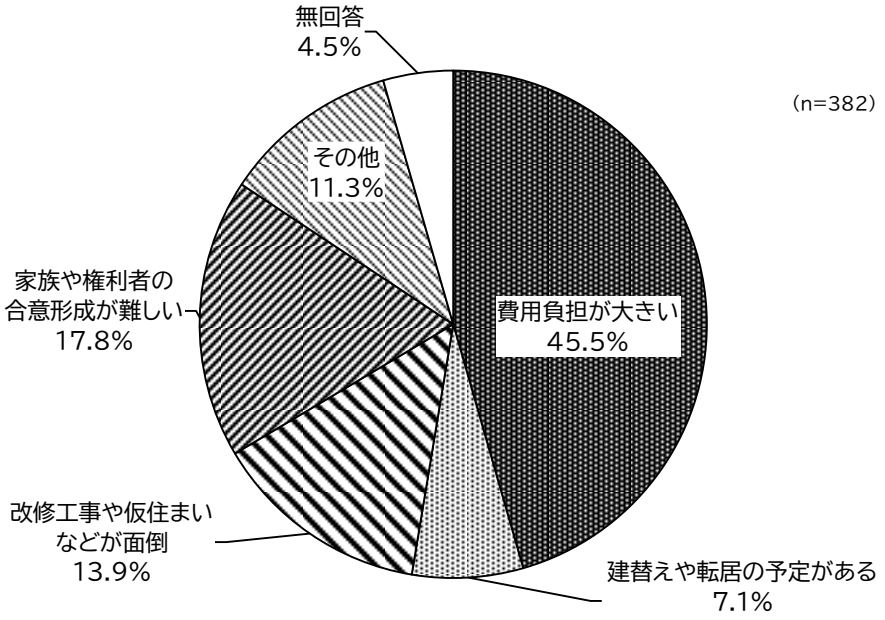
（8）耐震化を行わない理由

（問12で「耐震化は必要だと思うが難しい（すぐには取り組めない）」と回答した方にお尋ねします。）
問12-1　耐震化が難しい理由は何ですか。（あてはまるもの１つに○）

①全体

「費用負担が大きい」が45.5%で最も高く、次いで「家族や権利者の合意形成が難しい（17.8%）」、「改修工事や仮住まいなどが面倒（13.9%）」となっている。

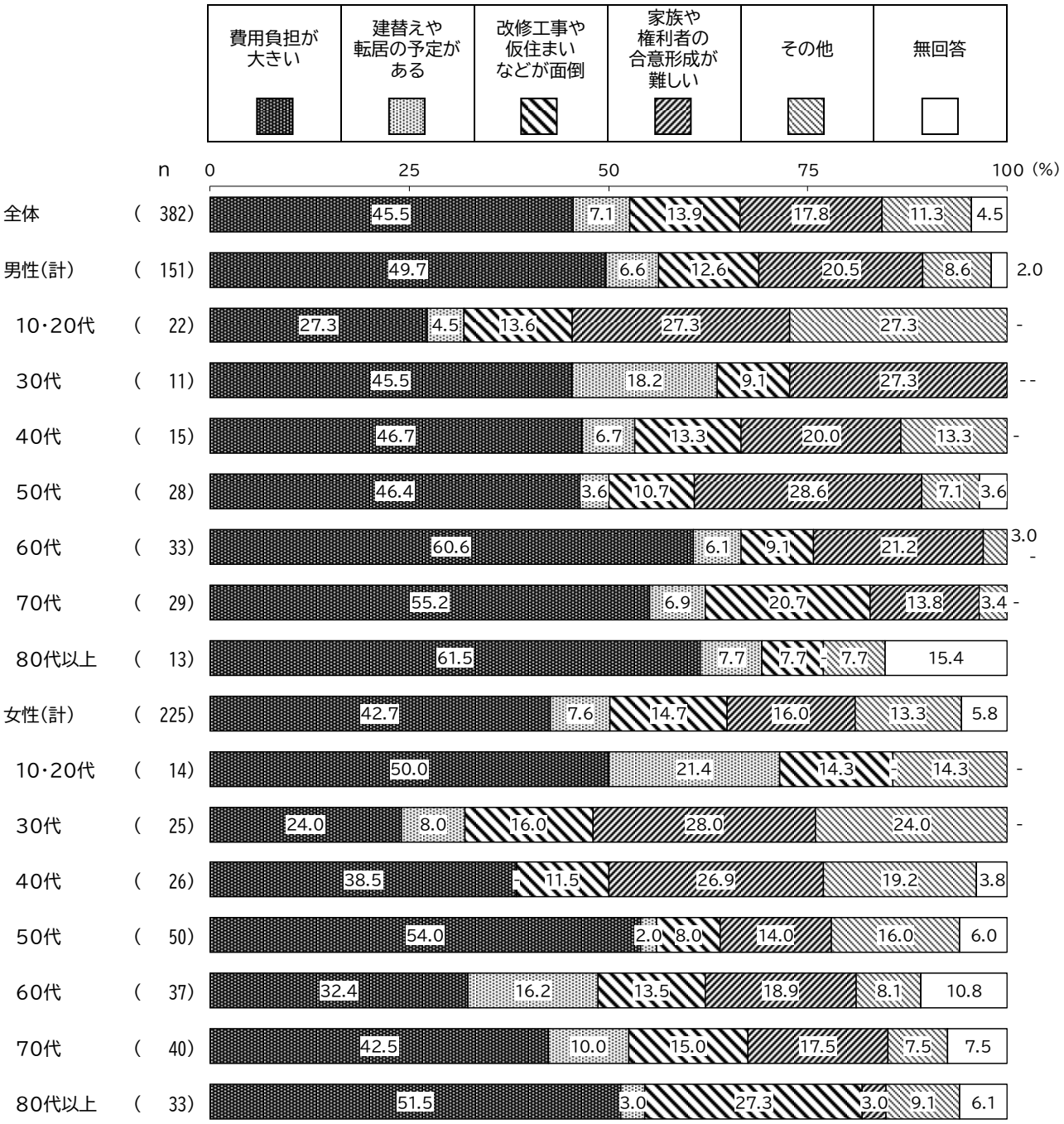
図３－８－１　耐震化を行わない理由（全体）



②性・年代別

「費用負担が大きい」は男性では60代が60.6%、女性では50代が54.0%とそれぞれ高くなっている。「改修工事や仮住まいなどが面倒」は女性の80代以上で27.3%と高くなっている。

図３－８－２　耐震化を行わない理由（性・年代別）



③居住形態別

一戸建持家では、「費用負担が大きい」が56.1%、「改修工事や仮住まいなどが面倒」が22.8%と、他の居住形態と比べて高くなっている。また、分譲マンションは「家族や権利者の合意形成が難しい」が31.6%と高くなっている。

図３－８－３　耐震化を行わない理由（居住形態別）

